

津島市障がい者福祉計画策定に関する アンケート調査結果報告書

平成 24 年 2 月

津 島 市

目次

調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象	1
3 調査期間	1
4 調査方法	1
5 回収状況	1
6 調査結果の表示方法	1
調査結果	2
1 回答者について	3
2 日常生活について	11
3 生計について	25
4 外出状況について	27
5 余暇・休日・放課後等について	30
6 就労・就学などについて	32
7 災害など緊急事態の対応について	40
8 福祉情報の入手方法について	44
9 障がい者サービスについて	47
10 その他の支援について	58
11 今後のまちづくりについて	63
自由意見・参考意見等.....	64
1 ご本人	64
2 ご家族、保護者の方	66

調査の概要

1 調査の目的

障害者自立支援法が施行され、障がい福祉サービスに関する3年間の実施計画的位置づけの障がい福祉計画を新たに策定することにあわせ、その基本となる障がい者福祉計画を見直すことを目的とします。

2 調査対象

津島市内在住の障がい者手帳をお持ちの方（発達障がい、高次脳機能障がいのある方を含む。）1,500名

3 調査期間

平成23年9月2日から平成23年9月16日


4 調査方法

郵送による配布・回収

5 回収状況

	配布数	有効回収数	有効回収率
津島市内在住の障がい者	1,500通	719通	47.9%

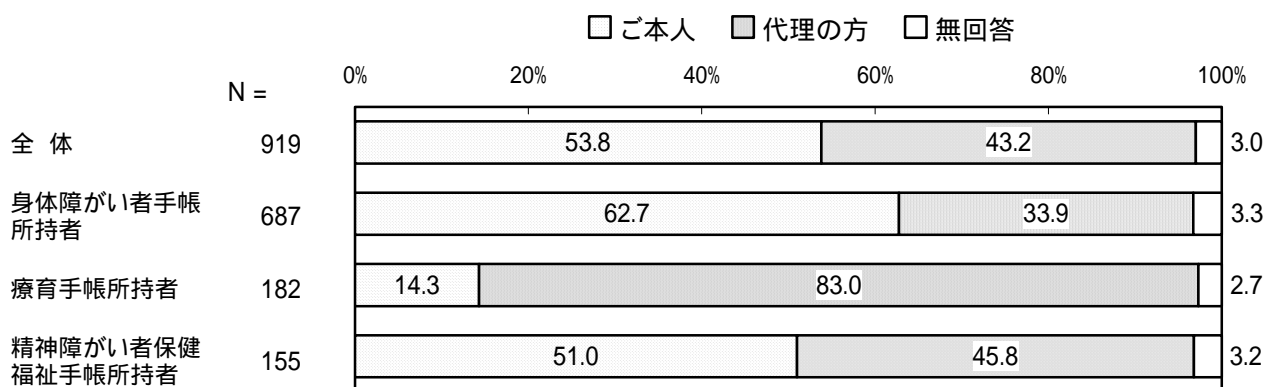
6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）

調査結果

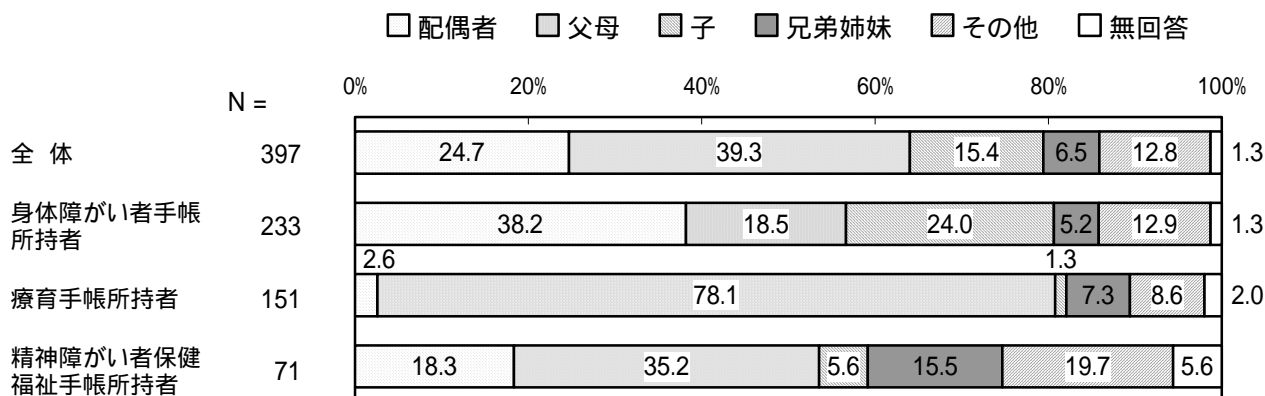
問1 アンケートに記入していただく方はどなたですか。代理の方である場合は、ご本人との関係を右の内のあてはまるもの1つに印をつけてください。

全体では「ご本人」の割合が53.8%、「代理の方」の割合が43.2%となっています。



【代理者】

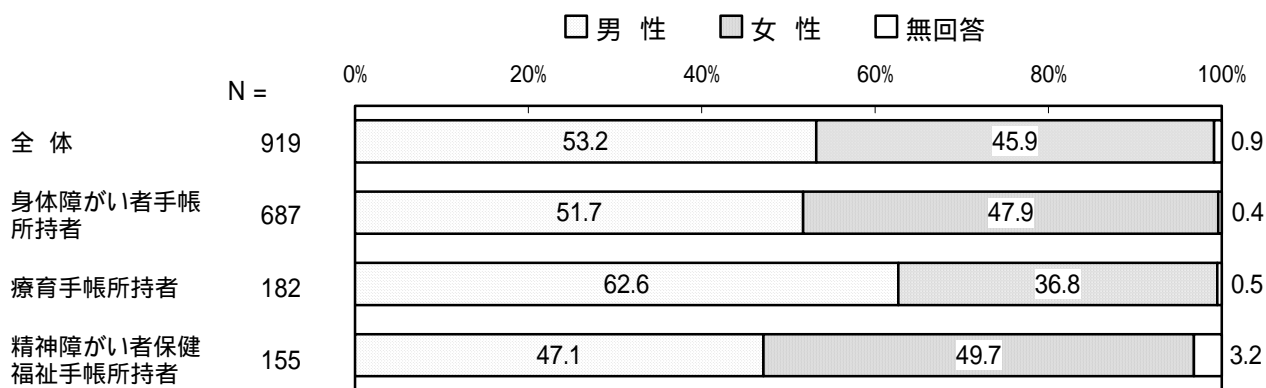
全体では記入者が「代理の方」の場合の続柄をみると、「父母」の割合が39.3%と最も高く、次いで「配偶者」の割合が24.7%、「子」の割合が15.4%となっています。



1 回答者について

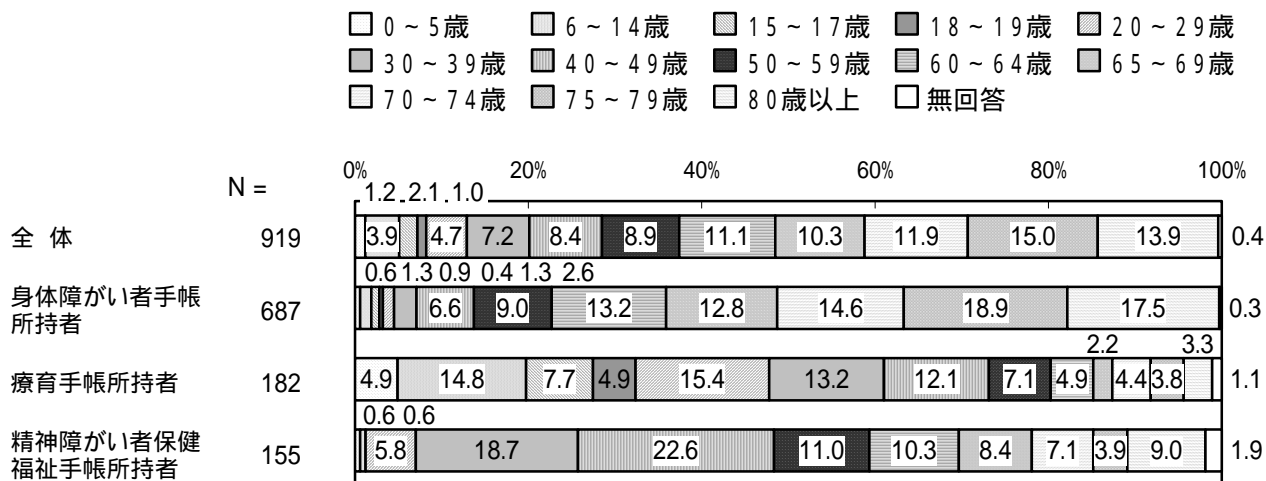
問2 あなたの性別をお答えください。(あてはまる方に 印をつけてください。)

全体では「男性」の割合が53.2%、「女性」の割合が45.9%となっています。
療育手帳所持者では「男性」の割合が62.6%、「女性」の割合が36.8%となっています。



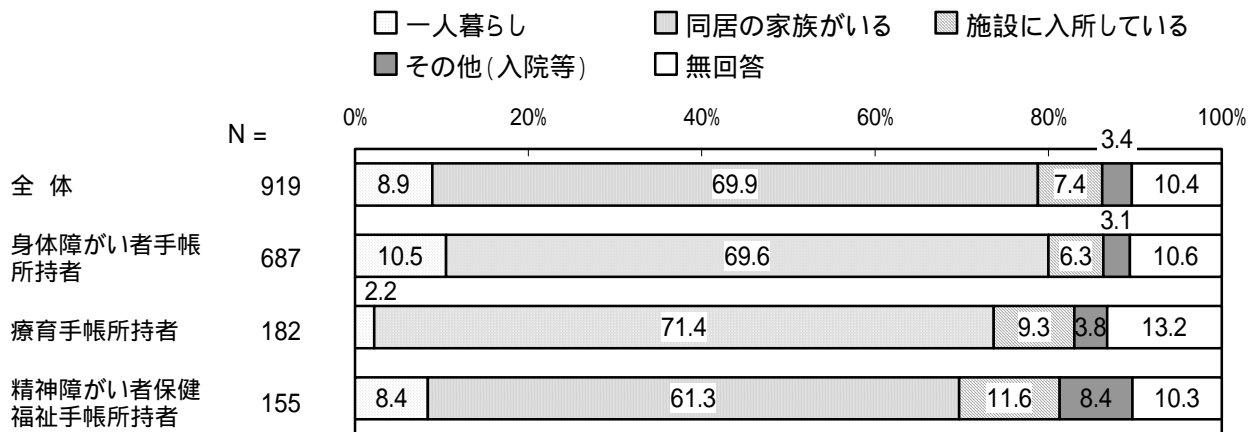
問3 あなたの年齢をお答えください。(平成23年8月1日現在)
(あてはまるもの1つに 印をつけてください。)

全体では「18歳未満」の割合が7.2%、「18~64歳」の割合が41.3%、「65歳以上」の割合が51.1%となっています。



問4 あなたの家族状況をお答えください。(あてはまるもの1つに 印を記入)
「2)同居の家族がいる」「3)施設に入所している」「4)その他(入院等)」に
印をつけた方は、家族構成について右の内のあてはまるものすべてに 印をつけて
ください。

全体では「同居の家族がいる」の割合が69.9%と最も高く、次いで「一人暮らし」の割合が8.9%、「施設に入所している」の割合が7.4%となっています。



【同居の家族】

同居の家族をみると、全体では「配偶者」の割合が48.6%と最も高く、次いで「子ども」の割合が34.8%、「親」の割合が32.3%となっています。

身体障がい者手帳所持者では「配偶者」の割合が62.0%と最も高くなっています。

療育手帳所持者では「親」の割合が76.0%と最も高くなっています。

単位：%

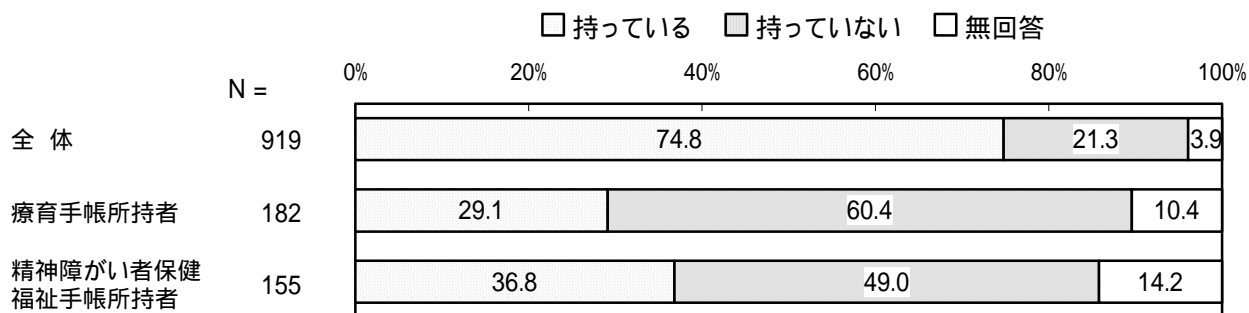
区分	有効回答数(件)	配偶者	親	子ども	子どもの配偶者	兄弟姉妹	祖父母	孫	親戚	その他	無回答
全体	741	48.6	32.3	34.8	8.9	17.7	4.9	10.9	0.3	4.3	4.0
身体障がい者手帳所持者	542	62.0	18.3	43.2	11.4	7.9	2.0	14.0	0.2	3.7	4.1
療育手帳所持者	154	6.5	76.0	5.2	0.0	50.0	15.6	0.6	0.6	3.2	7.8
精神障がい者保健福祉手帳所持者	126	30.2	49.2	23.8	3.2	19.8	5.6	4.8	0.0	5.6	4.8

問5 あなたは、現在、身体障がい者手帳を所持していますか。(あてはまる方に 印をつけてください。)

全体では「持っている」の割合が74.8%、「持っていない」の割合が21.3%となっています。

療育手帳所持者では「持っている」の割合が29.1%となっています。

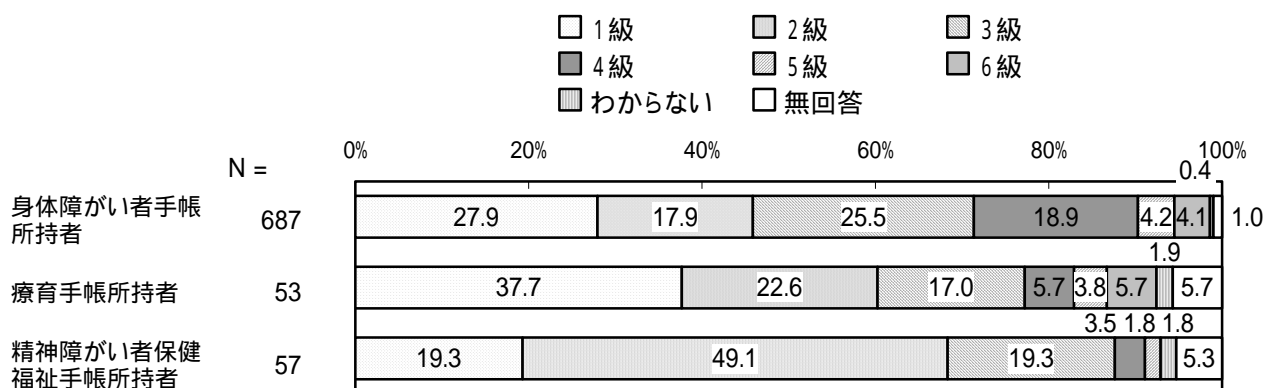
精神障がい者保健福祉手帳所持者では「持っている」の割合が36.8%となっています。



問5で「1) 持っている」と答えた方にお聞きします。

問5 - 身体障がい者手帳の等級は何級ですか。(あてはまるもの1つに 印をつけてください。)

身体障がい者手帳所持者全体では、「1級」の割合が27.9%と最も高く、次いで「3級」の割合が25.5%、「4級」の割合が18.9%となっています。



問5 - あなたの身体障がい者手帳に記載されている障がい名をお答えください。(あてはまるものすべてに印をつけてください。また、あてはまる障がい名が複数ある場合、もっとも重いとと思われる障がい名の番号を()内に記入してください。)

身体障がい者手帳所持者全体では「下肢不自由」の割合が31.0%と最も高く、次いで「心臓機能」の割合が19.1%、「上肢不自由」の割合が17.3%となっています。
療育手帳所持者では「体幹機能」の割合が26.4%と最も高くなっています。
精神障がい者保健福祉手帳所持者では「下肢不自由」の割合が14.0%と最も高くなっています。

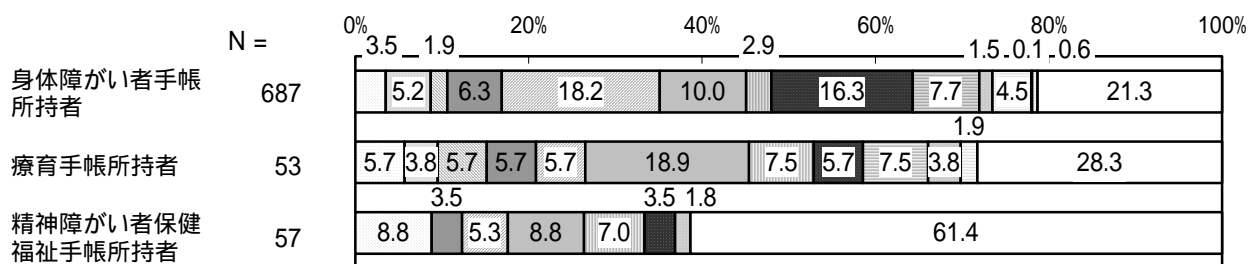
単位：%

区分	有効回答数(件)	視覚	聴覚・平衡機能	音声・言語・そしゃく機能	上肢不自由	下肢不自由	体幹機能	脳原性運動機能	心臓機能	じん臓機能	呼吸器機能	ぼうこう・直腸機能	小腸機能	免疫機能	肝臓機能	無回答
身体障がい者手帳所持者	687	5.4	6.8	4.7	17.3	31.0	15.0	3.9	19.1	9.5	2.6	5.5	0.3	0.6	0.7	10.9
療育手帳所持者	53	9.4	7.5	13.2	18.9	24.5	26.4	7.5	7.5	7.5	3.8	1.9	0.0	0.0	0.0	18.9
精神障がい者保健福祉手帳所持者	57	8.8	1.8	5.3	8.8	14.0	8.8	7.0	7.0	0.0	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	54.4

【最も重い障がい】

最も重い障がいをみると、身体障がい者手帳所持者全体では「下肢不自由」の割合が18.2%と最も高く、次いで「心臓機能」の割合が16.3%、「体幹機能」の割合が10.0%となっています。

- 視覚
- 聴覚・平衡機能
- 音声・言語・そしゃく機能
- 上肢不自由
- 下肢不自由
- 体幹機能
- 脳原性運動機能
- 心臓機能
- じん臓機能
- 呼吸器機能
- ぼうこう・直腸機能
- 小腸機能
- 免疫機能
- 肝臓機能
- 無回答

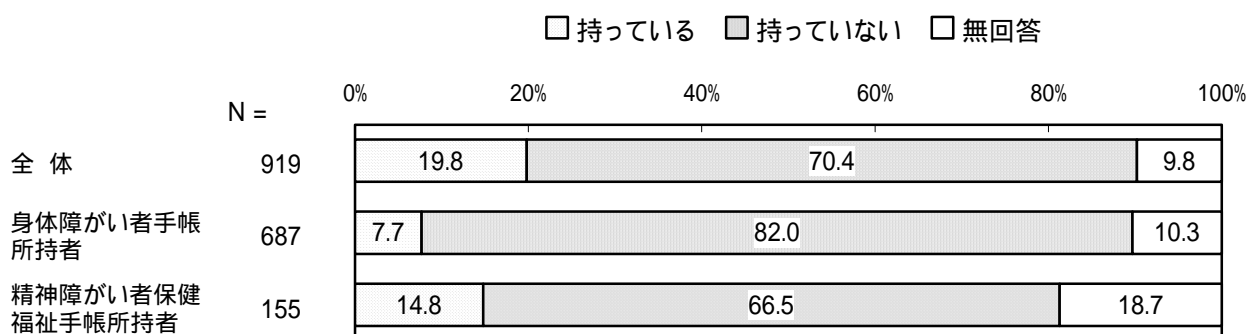


問6 あなたは、現在、療育手帳を所持していますか。(あてはまる方に 印をつけてください。)

全体では「持っている」の割合が19.8%となっています。

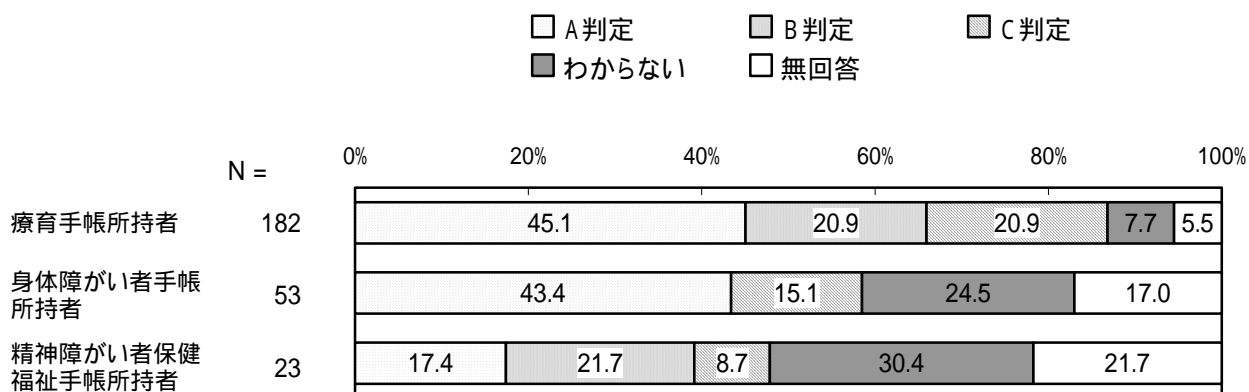
身体障がい者手帳所持者では「持っている」の割合が7.7%となっています。

精神障がい者保健福祉手帳所持者では「持っている」の割合が14.8%となっています。



問6で「1) 持っている」と答えた方にお聞きします。
 問6 - 療育手帳の判定はどのようですか。(あてはまるもの1つに 印をつけてください。)

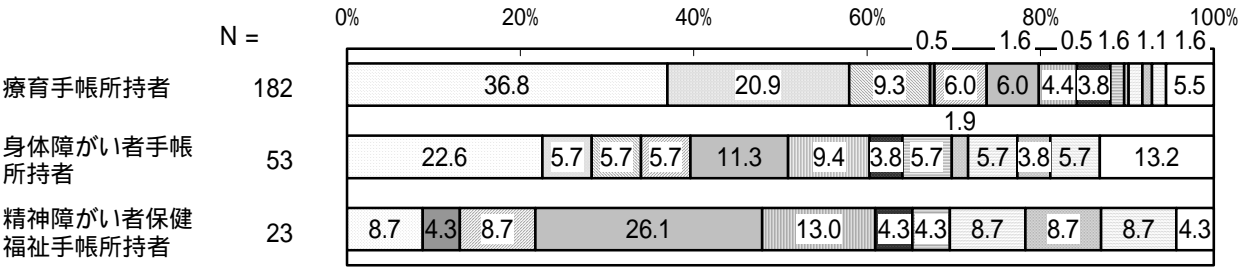
療育手帳所持者全体では「A判定」の割合が45.1%と最も高く、次いで「B判定」の割合が20.9%、「C判定」の割合が20.9%となっています。



問6 - あなたが療育手帳を取得した年齢をお答えください。(あてはまるもの1つに印をつけてください。)

療育手帳所持者全体では「0～5歳」の割合が36.8%と最も高く、次いで「6～14歳」の割合が20.9%、「15～17歳」の割合が9.3%となっています。

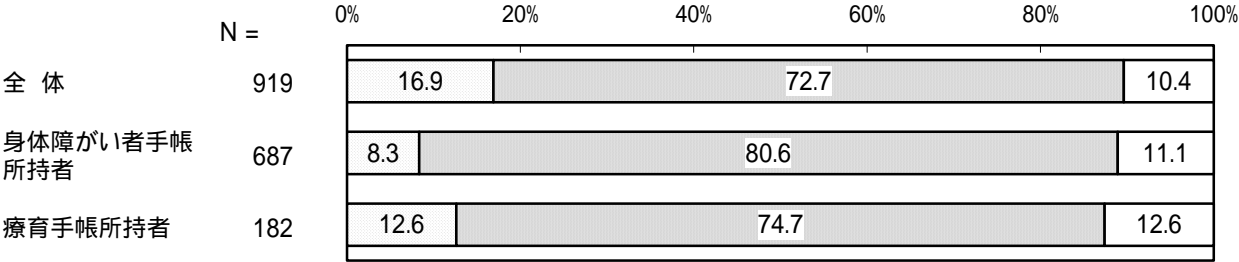
- 0～5歳
- 6～14歳
- 15～17歳
- 18～19歳
- 20～29歳
- 30～39歳
- 40～49歳
- 50～59歳
- 60～64歳
- 65～69歳
- 70～74歳
- 75～79歳
- 80歳以上
- 無回答



問7 あなたは、現在、精神障がい者保健福祉手帳を所持していますか。(あてはまる方に印をつけてください。)

全体では「持っている」の割合が16.9%となっています。
 身体障がい者手帳所持者では「持っている」の割合が8.3%となっています。
 療育障がい者保健福祉手帳所持者では「持っている」の割合が12.6%となっています。

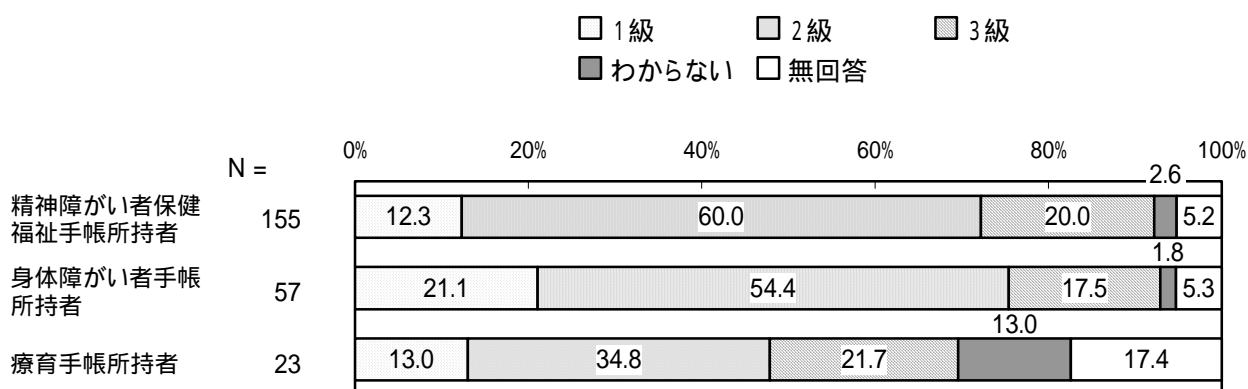
- 持っている
- 持っていない
- 無回答



問7で「1)持っている」と答えた方にお聞きします。

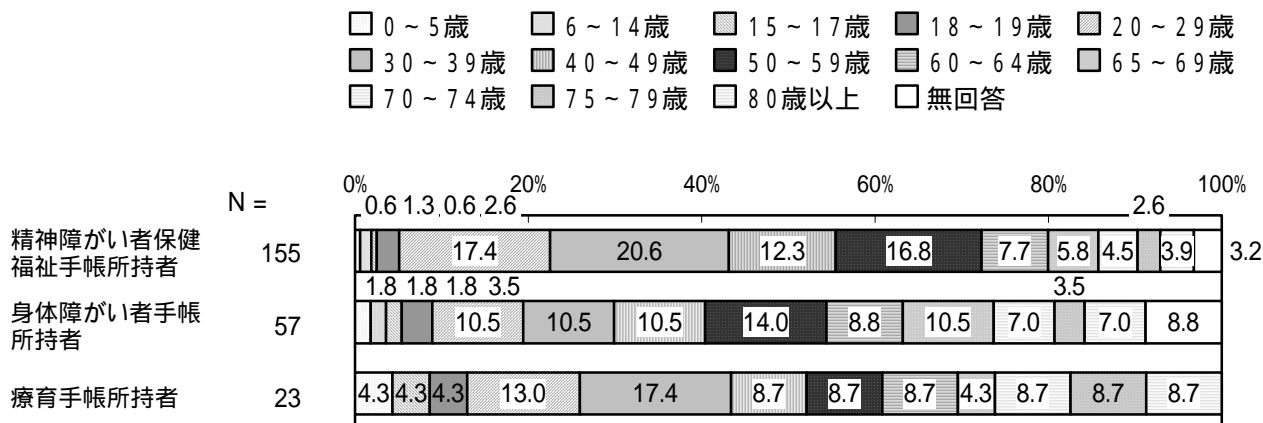
問7 - 精神障がい者保健福祉手帳の等級は何級ですか。(あてはまるもの1つに 印をつけてください。)

精神障がい者保健福祉手帳所持者全体では「2級」の割合が60.0%と最も高く、次いで「3級」の割合が20.0%、「1級」の割合が12.3%となっています。



問7 - あなたが精神障がい者保健福祉手帳を取得した年齢をお答えください。(あてはまるもの1つに 印をつけてください。)

精神障がい者保健福祉手帳所持者全体では「30～39歳」の割合が20.6%と最も高く、次いで「20～29歳」の割合が17.4%、「50～59歳」の割合が16.8%となっています。



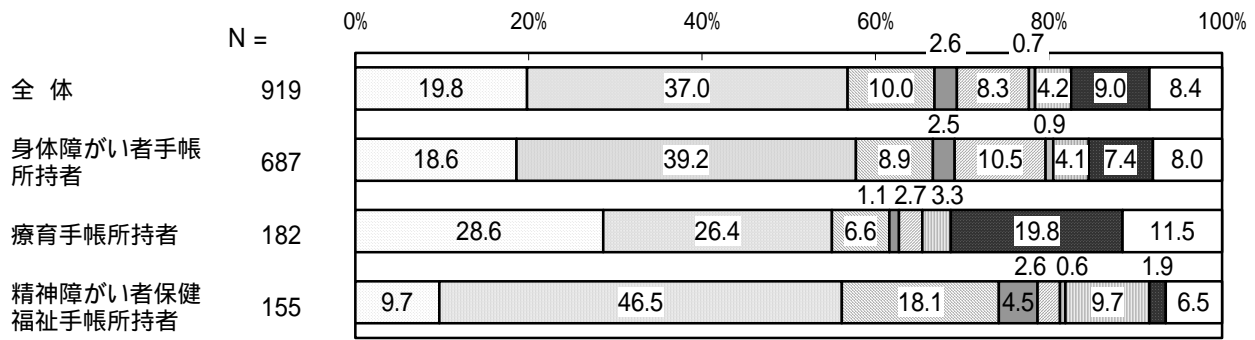
問9 あなたは、病気や障がいで、どの程度、医療機関に受診していますか。(あてはまるもの1つに 印をつけてください。)

全体では「月に1回程度」の割合が37.0%と最も高く、次いで「年に数回程度」の割合が19.8%、「2週間に1回程度」の割合が10.0%となっています。

療育手帳所持者では「年に数回程度」の割合が28.6%と最も高くなっています。

精神障がい者保健福祉手帳所持者では「月に1回程度」の割合が46.5%と最も高く、次いで「2週間に1回程度」の割合が18.1%となっています。

- 年に数回程度 □ 月に1回程度 □ 2週間に1回程度
- 週に1回程度 □ 週に2～4回程度 □ 週5回以上
- 入院中 ■ 受診していない □ 無回答

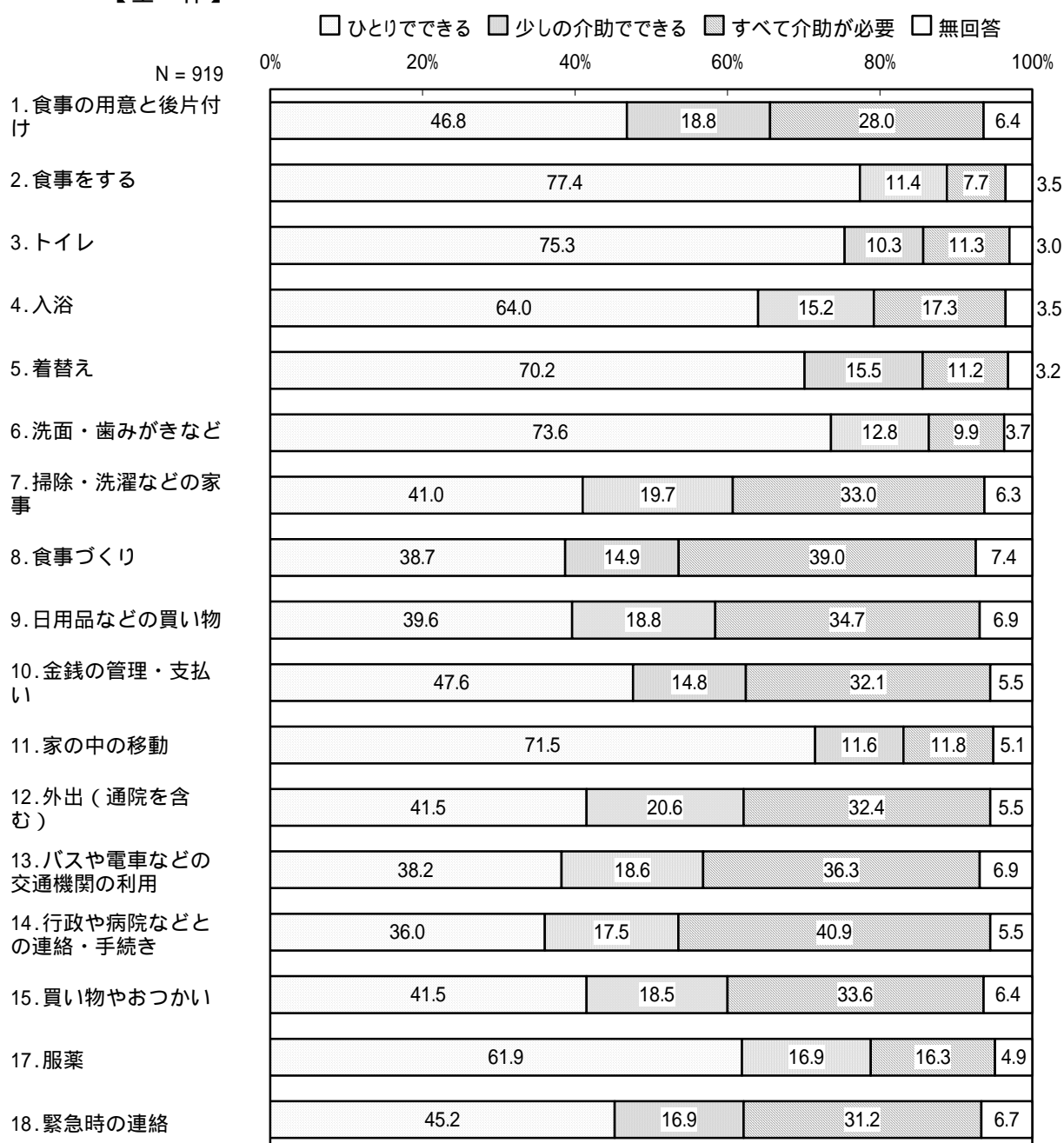


2 日常生活について

問 10 あなたは、次の 1.～20.の日常生活の項目についてどの程度できますか。(それぞれあてはまるもの1つに 印をつけてください。)
 なお、16、19、20の項目は選択肢が異なるため、15頁に掲載しています。

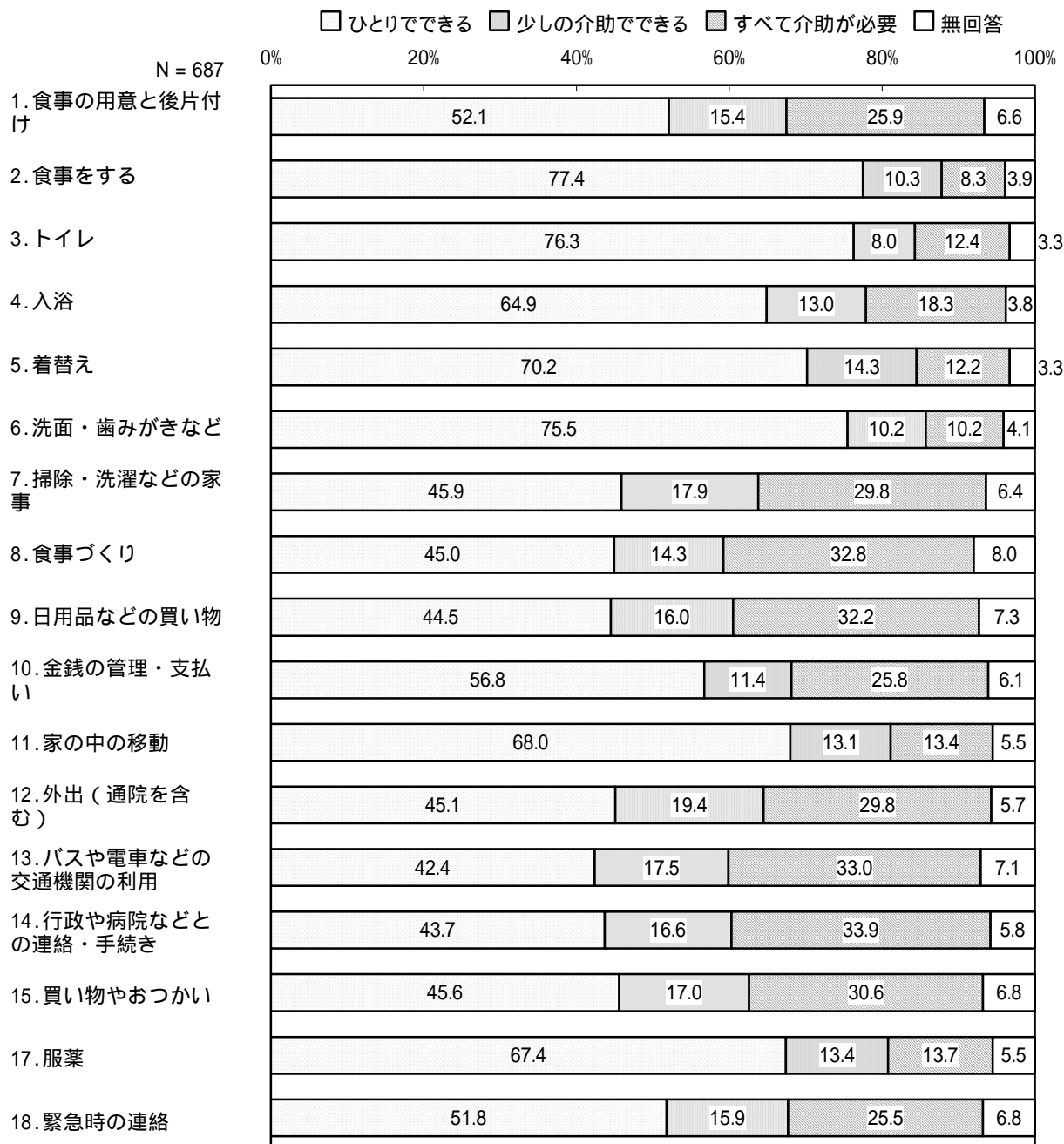
全体では食事をする、トイレ、着替え、洗面・歯みがき、家の中の移動など基本的な日常動作で「ひとりでできる」の割合が7割以上と高くなっています。一方、食事づくり、日用品などの買い物、バスや電車などの交通機関の利用、行政や病院などとの連絡・手続きなどの判断を要する日常生活動作で「ひとりでできる」の割合が4割未満と低くなっています。

【全体】



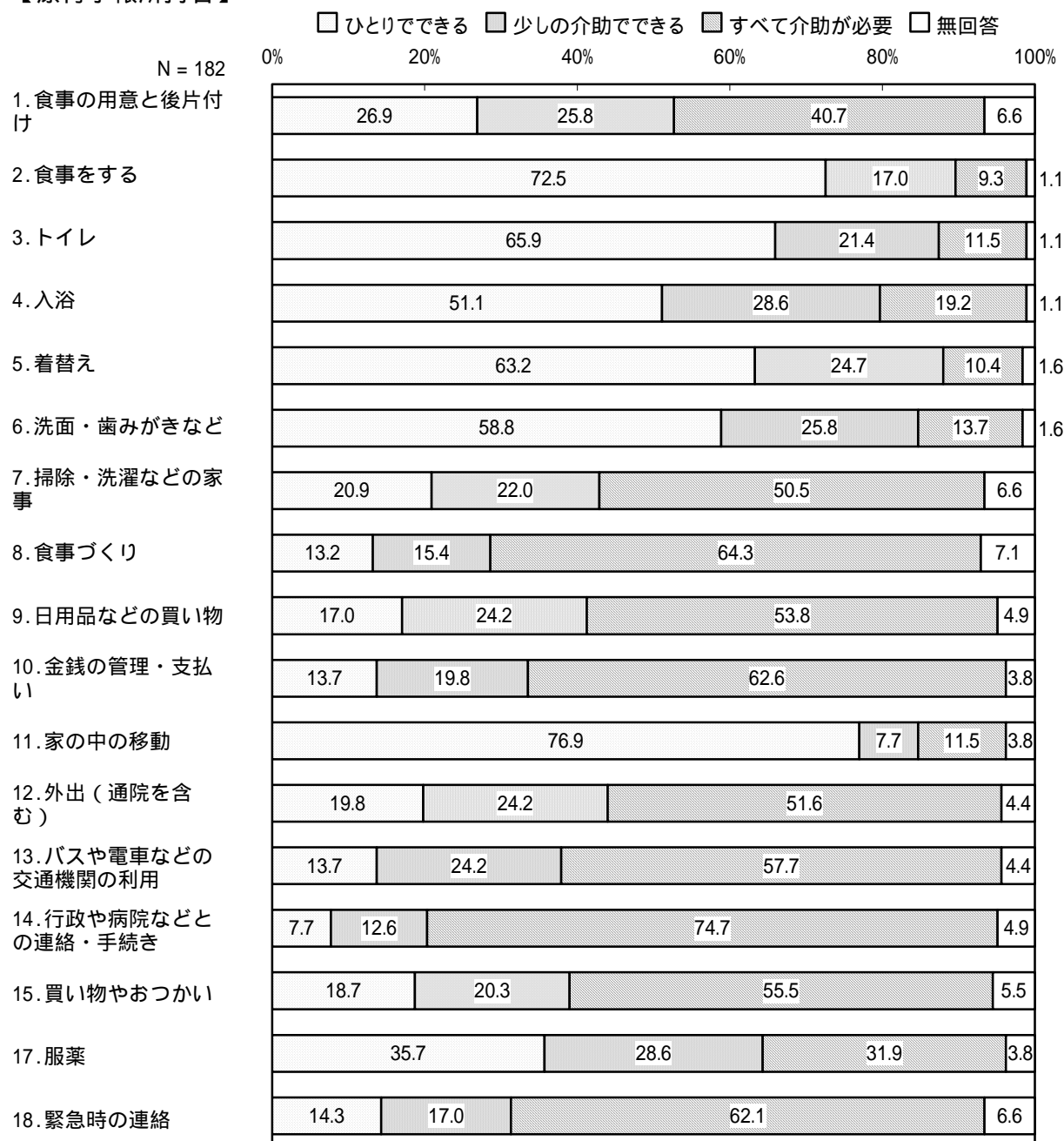
身体障がい者手帳所持者では食事をする、トイレ、着替え、洗面・歯みがきなどの基本的日常動作で「ひとりでできる」の割合が7割以上と高くなっています。一方、掃除・選択などの家事、食事づくり、日用品などの買い物、買い物やおつかいなどの家事、外出（通院を含む）、バスや電車などの交通機関の利用、行政や病院などとの連絡・手続きなどの外部とかかわりのある日常生活で「ひとりでできる」の割合が5割未満と低くなっています。

【身体障がい者手帳所持者】



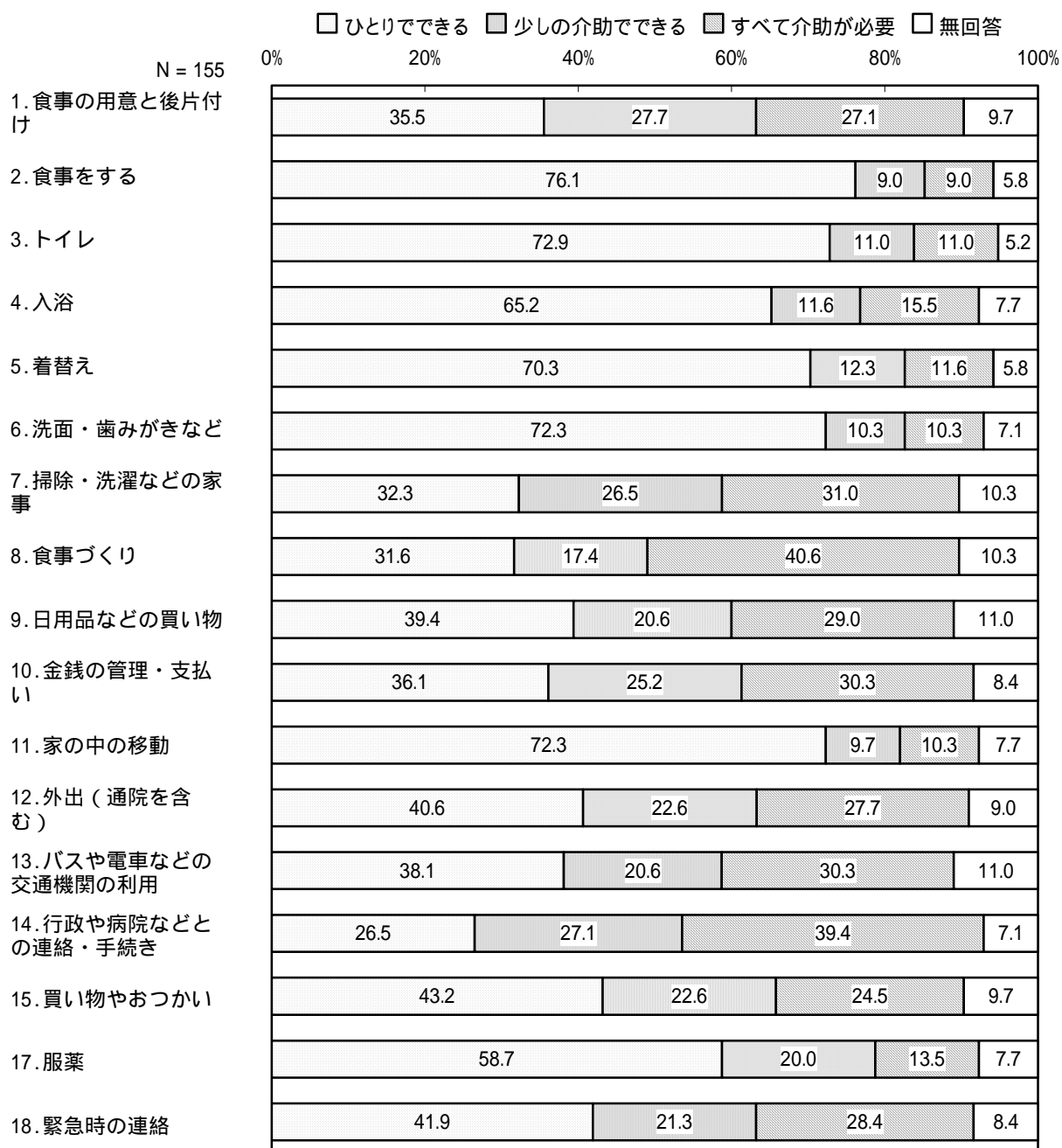
療育手帳所持者では食事をする、トイレ、着替え、家の中の移動といった基本的日常動作で「ひとりでできる」の割合が6割以上と高くなっています。一方、食事づくり、日用品などの買い物、買い物やおつかい等の家事、金銭の管理・支払い等の判断を要する日常生活動作、外出（通院を含む）、バスや電車などの交通機関の利用、行政や病院などとの連絡・手続き等の外部とかかわりのある日常動作で「ひとりでできる」の割合が2割未満と低くなっています。

【療育手帳所持者】



精神障がい者保健福祉手帳所持者では食事をする、トイレ、着替え、洗面・歯みがきなど、家の中の移動などの基本的日常動作で「ひとりでできる」の割合が7割以上と高くなっています。一方、掃除・選択などの家事、食事づくりなどの家事、日用品などの買い物、金銭の管理・支払いなどの判断を要する日常生活動作、バスや電車などの交通機関の利用、行政や病院などとの連絡・手続き等の外部とかかわりのある日常生活動作で「ひとりでできる」の割合が4割未満と低くなっています。

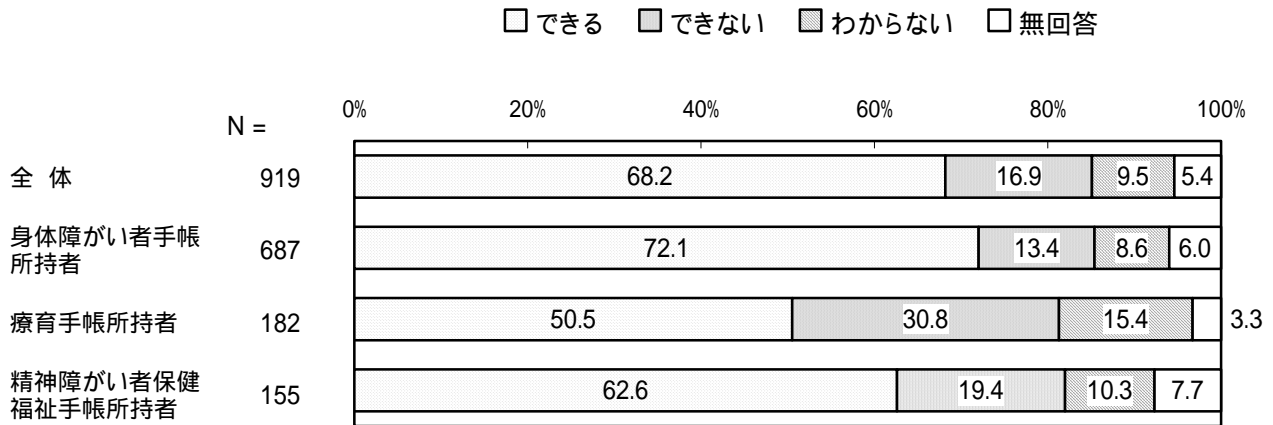
【精神障がい者保健福祉手帳所持者】



16. 留守番

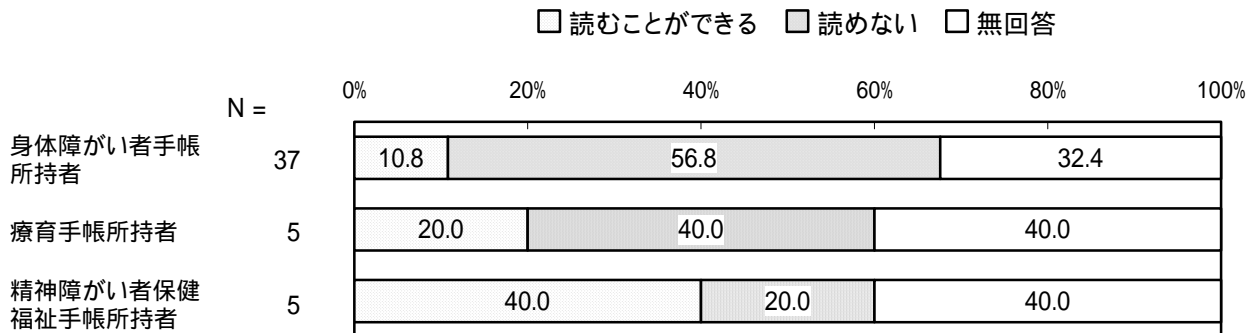
全体では「できる」の割合が68.2%と最も高く、次いで「できない」の割合が16.9%、「わからない」の割合が9.5%となっています。

療育手帳所持者では「できる」の割合が50.5%と、他の障がい者に比べて低くなっています。



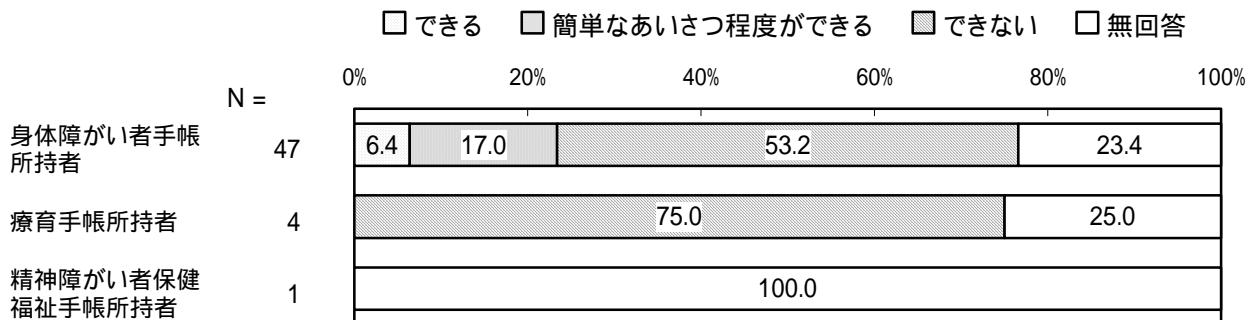
19. 点字 (視覚障がいのある人)

全体では「読めない」の割合が56.8%、「読むことができる」の割合が10.8%となっています。



20. 手話 (聴覚障がいのある人)

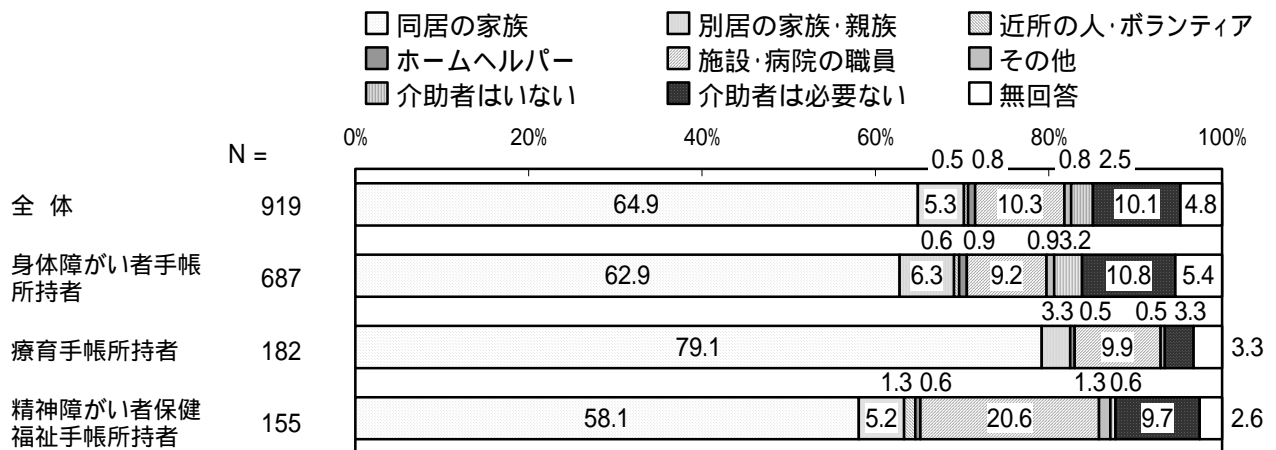
全体では「できない」の割合が53.2%と最も高く、次いで「簡単なあいさつ程度ができる」の割合が17.0%、「できる」の割合が6.4%となっています。



問 11 あなたを主に介助や手助けする人はどなたですか。(主な方1つに 印をつけてください。)

全体では「同居の家族」の割合が64.9%と最も高く、次いで「施設・病院の職員」の割合が10.3%、「介助者は必要ない」の割合が10.1%となっています。

療育手帳所持者では「同居の家族」の割合が79.1%と最も高くなっています。

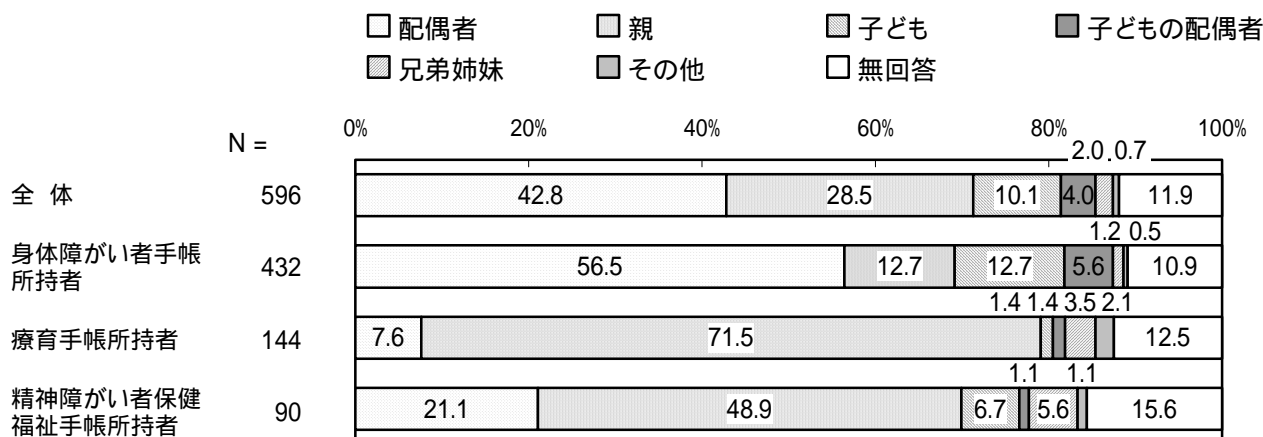


問 11 で「 1) 同居の家族」と答えた方にお聞きします。

問 11- 同居の家族の続柄について、あてはまるもの 1 つに 印をつけてください。

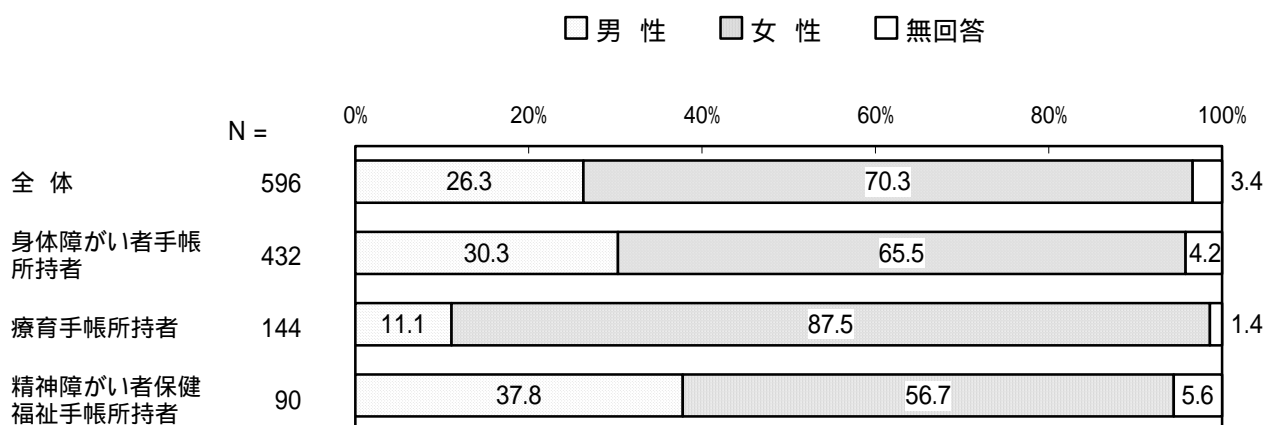
全体では「配偶者」の割合が 42.8%と最も高く、次いで「親」の割合が 28.5%、「子ども」の割合が 10.1%となっています。

療育手帳所持者、精神障がい者保健福祉手帳所持者では「親」の割合が最も高く、療育手帳所持者で 71.5%、精神障がい者保健福祉手帳所持者で 48.9%となっています。



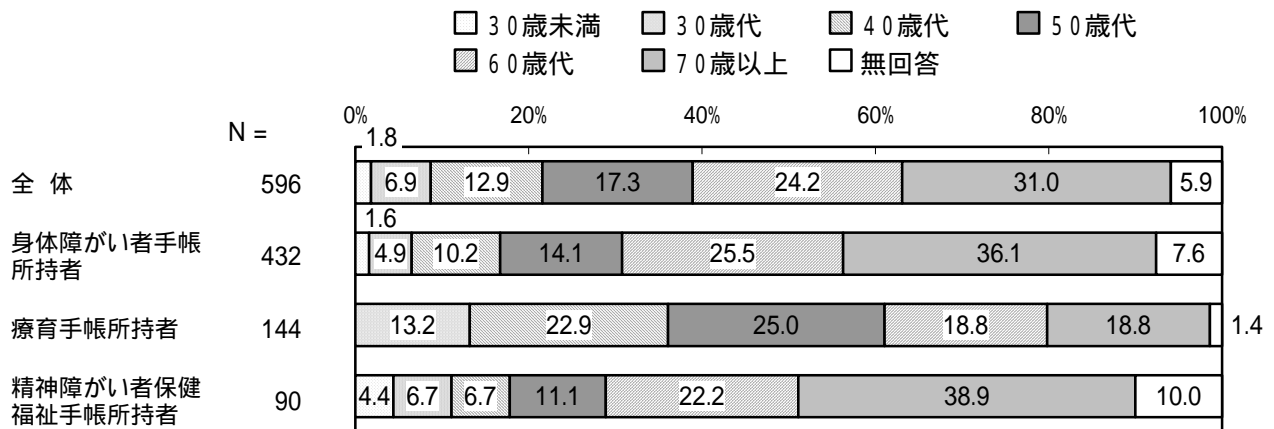
問 11- 主に手助けをする人の性別をお答えください。(あてはまる方に 印をつけてください。)

全体では「男性」の割合が 26.3%、「女性」の割合が 70.3%となっています。



問 11- 問 11- の方の年齢をお答えください。(あてはまるもの1つに 印をつけてください。)

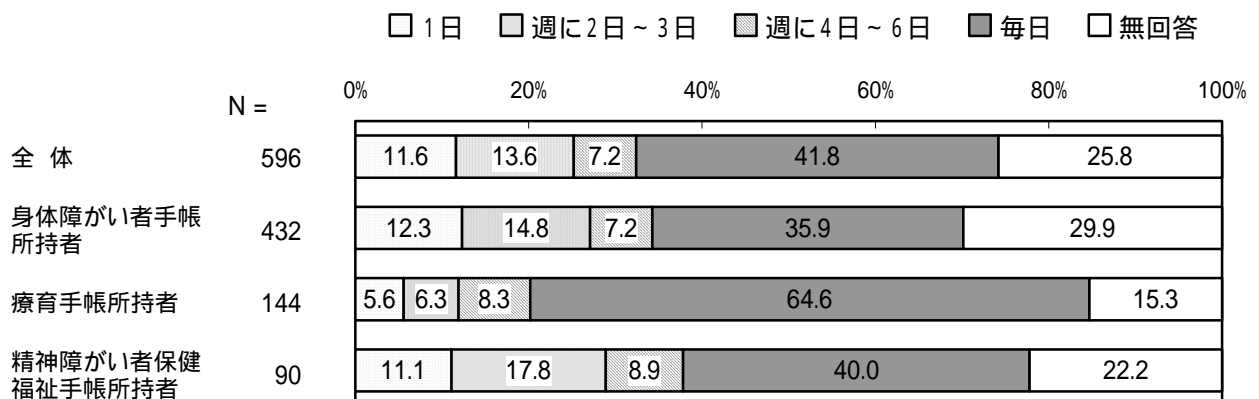
全体では「70歳以上」の割合が31.0%と最も高く、次いで「60歳代」の割合が24.2%、「50歳代」の割合が17.3%となっています。



問 11- 支援に必要な日数は、1週間のうち何日くらいですか。(あてはまるもの1つに 印をつけてください。)

全体では「毎日」の割合が41.8%と最も高く、次いで「週に2日～3日」の割合が13.6%、「1日」の割合が11.6%となっています。

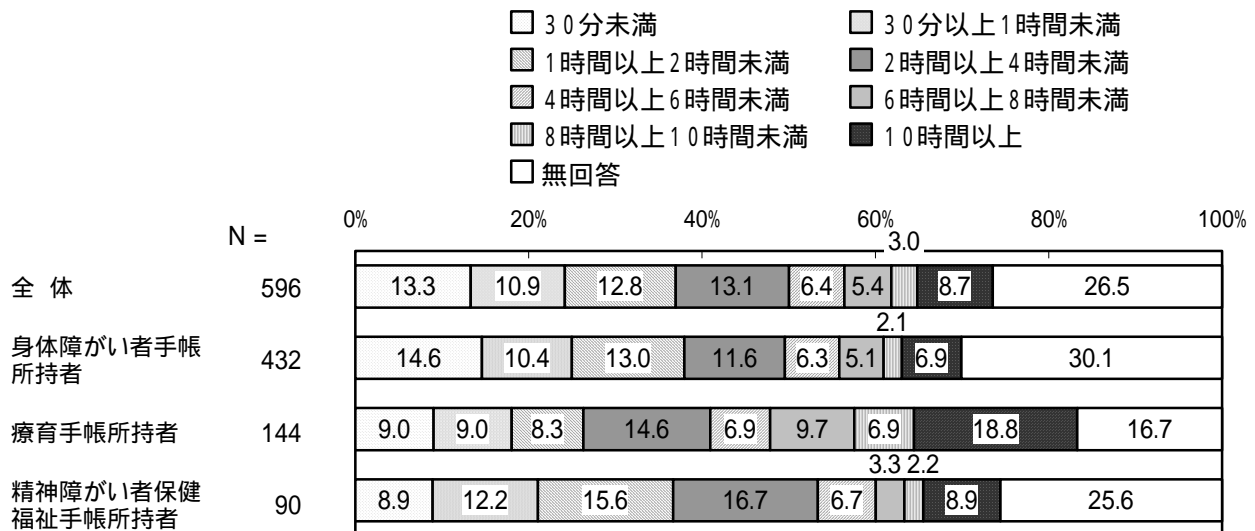
療育手帳所持者では「毎日」の割合が64.6%と最も高くなっています。



問 11- 支援に必要な時間は、1日の延べ時間でどれくらいですか。(あてはまるもの1つに 印をつけてください。)

全体では「30分未満」の割合が13.3%と最も高く、次いで「2時間以上4時間未満」の割合が13.1%、「1時間以上2時間未満」の割合が12.8%となっています。

療育手帳所持者では「10時間以上」の割合が18.8%と最も高くなっています。

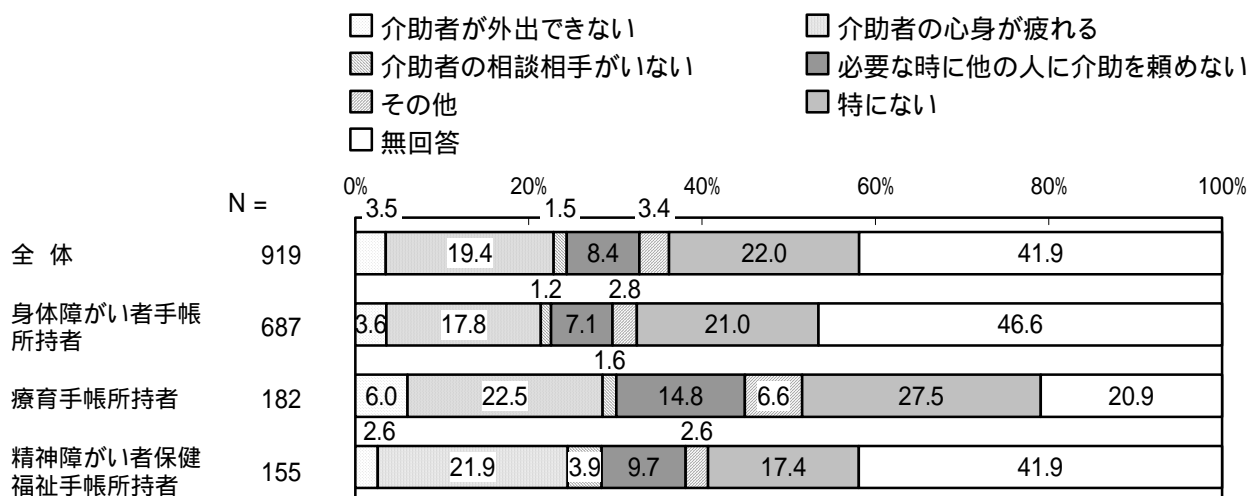


(問 12 は、介助している方にお聞きします。)

問 12 あなたが介助するときにもっとも大変だと思うことは何ですか。(あてはまるもの1つに 印をつけてください。)

全体では「特にない」の割合が22.0%と最も高くなっています。次いで「介助者の心身が疲れる」の割合が19.4%、「必要な時に他の人に介助を頼めない」の割合が8.4%と高くなっています。

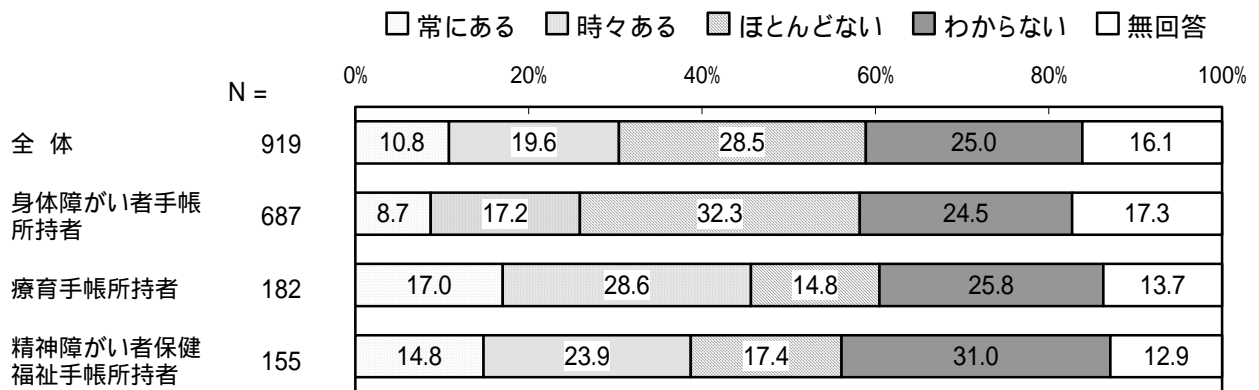
療育手帳所持者では「必要な時に他の人に介助を頼めない」の割合が14.8%と他の障がいに比べて高くなっています。



問 13 あなたは、日常生活の中で、障がいや障がいのある方について理解されていないと感じることはありますか。(あてはまるもの1つに 印をつけてください。)

全体では「常にある」と「時々ある」を合わせた“感じている人”の割合が30.4%となっています。

療育手帳所持者では“感じている人”の割合が高く45.6%となっています。



問 14 あなたが日常生活で困った時に主に相談する相手は誰ですか。(主なもの3つ以内に 印をつけてください。)

全体では「同居の家族」の割合が62.9%と最も高く、次いで「別居の家族」の割合が23.5%、「医師・看護師などの専門職」の割合が21.0%となっています。

精神障がい者保健福祉手帳所持者では「医師・看護師などの専門職」の割合が31.6%、「施設・病院の職員」の割合が18.1%で医療機関や専門職の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	同居の家族	別居の家族	友人・知人	ホームヘルパー	職場の同僚・上司	学校の先生	医師・看護師などの専門職	障がい者相談支援事業所の職員	障がい者相談員	児童相談所の職員
全 体	919	62.9	23.5	14.7	4.0	0.7	2.6	21.0	2.7	0.9	0.3
身体障がい者手帳所持者	687	63.3	25.5	13.1	5.1	0.3	0.9	20.4	1.7	0.6	0.1
療育手帳所持者	182	62.1	18.7	18.1	2.2	1.1	10.4	12.6	7.1	1.6	1.6
精神障がい者保健福祉手帳所持者	155	55.5	20.6	11.0	2.6	0.6	0.6	31.6	2.6	1.3	0.0

区分	施設・病院の職員	市役所・保健センターの職員	民生委員・児童委員	社会福祉協議会の職員	近所の人	ボランティア	家族の会などの支援団体	その他	特になし	無回答
全 体	11.0	2.8	0.2	1.6	1.3	0.4	0.8	3.5	5.3	6.6
身体障がい者手帳所持者	8.9	3.1	0.3	1.9	1.5	0.4	0.3	3.1	6.0	7.1
療育手帳所持者	15.4	3.8	0.0	0.5	0.5	0.0	3.3	4.9	3.8	7.7
精神障がい者保健福祉手帳所持者	18.1	5.2	0.0	3.2	1.3	1.3	0.0	1.9	3.9	3.2

問 15 あなた、またはご家族の方が相談したいと思うことは何ですか。(あてはまるものすべてに 印をつけてください。)

全体では「特にない」を除くと、「日常生活に関すること」の割合が 30.1%、「福祉サービスの利用に関すること」の割合が 20.8%と高くなっています。

療育手帳所持者、精神障がい者保健福祉手帳所持者では「日常生活に関すること」の割合が高く 3 割を超えています。

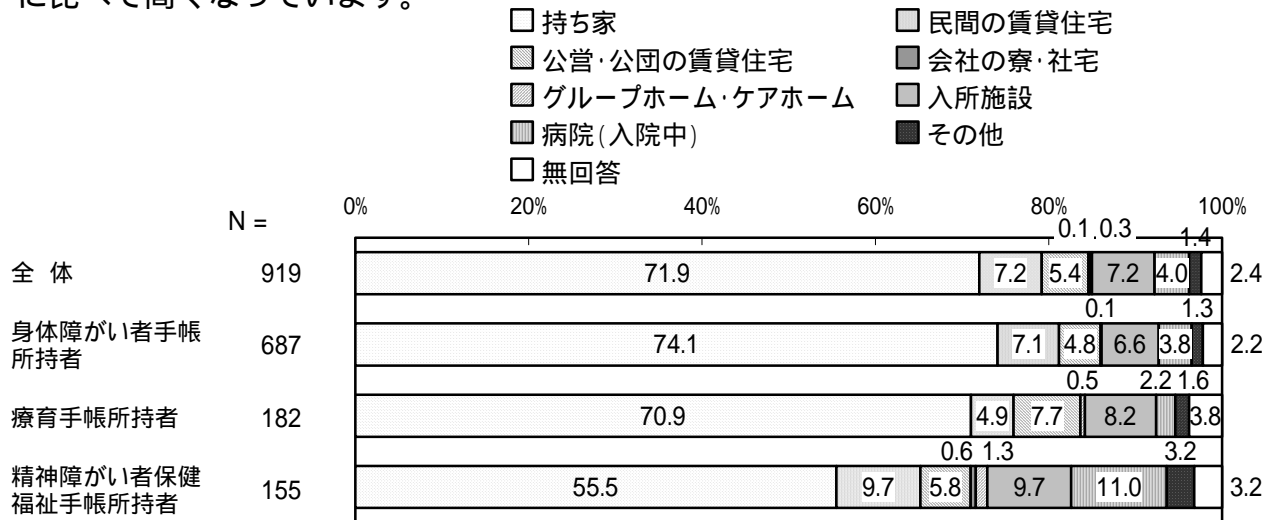
単位：%

区分	有効回答数(件)	日常生活に関すること	福祉サービスの利用に関すること	福祉サービスの情報に関すること	就労支援に関すること	成年後見制度(財産管理や契約などを支援する制度)や虐待など権利擁護に関すること	その他	特にない	無回答
全 体	919	30.1	20.8	17.4	9.0	5.3	6.0	34.2	11.2
身体障がい者手帳所持者	687	29.0	20.2	15.3	3.8	2.3	3.9	37.6	12.2
療育手帳所持者	182	35.2	23.1	19.8	20.9	14.3	11.5	19.8	12.6
精神障がい者保健福祉手帳所持者	155	31.0	19.4	20.0	16.8	7.1	10.3	31.0	8.4

問 16 あなたは、どちらで生活をされていますか。(あてはまるもの1つに 印をつけてください。)

全体では「持ち家」の割合が71.9%と最も高く、次いで「民間の賃貸住宅」の割合が7.2%、「入所施設」の割合が7.2%となっています。

精神障がい者保健福祉手帳所持者では「病院(入院中)」の割合が11.0%と他の障がいに比べて高くなっています。

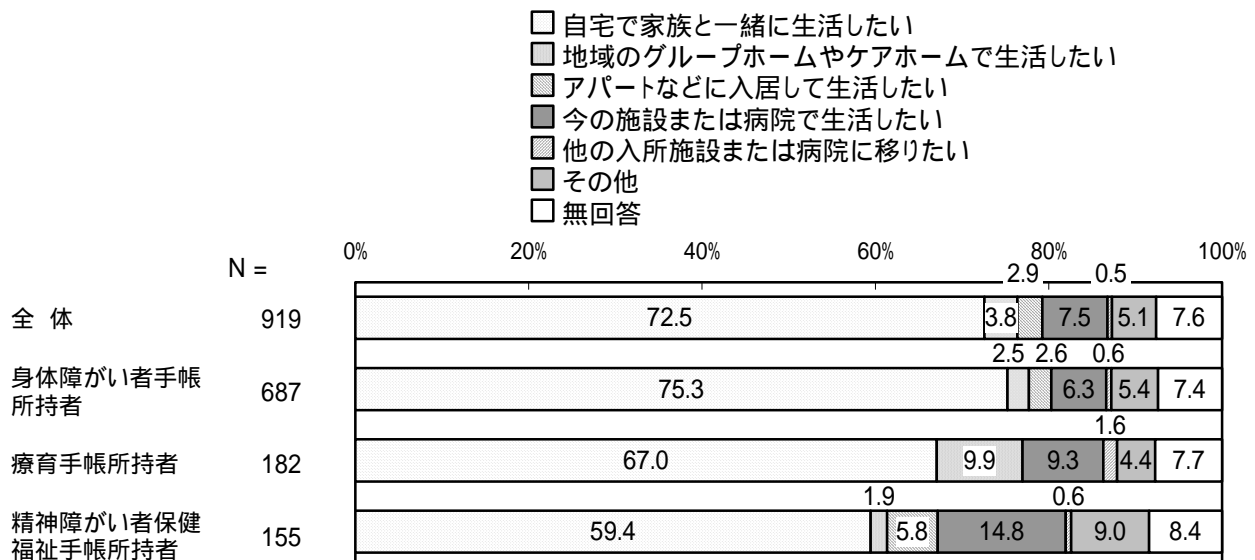


問 17 今後はどちらで生活したいと思いますか。(あてはまるもの1つに 印をつけてください。)

全体では「自宅で家族と一緒に生活したい」の割合が72.5%と最も高く、次いで「今の施設または病院で生活したい」の割合が7.5%、「地域のグループホームやケアホームで生活したい」の割合が3.8%となっています。

療育手帳所持者では「地域のグループホームやケアホームで生活したい」の割合が9.9%と他の障がいに比べて高くなっています。

精神障がい者保健福祉手帳所持者では「今の施設または病院で生活したい」の割合が14.8%と他の障がいに比べて高くなっています。



問 18 お住まいについて、主に望むことは何ですか。(主なもの3つ以内に 印をつけてください。)

全体では「特にない」の割合が 30.9%と最も高くなっています。次いで「障がい者の住んでいる住宅の改造費を援助する」の割合が 27.7%、「障がい者が住んでいる住宅のバリアフリー化を促進する」の割合が 19.7%となっています。

身体障がい者手帳所持者では「障がい者の住んでいる住宅の改造費を援助する」の割合が 30.4%、「障がい者が住んでいる住宅のバリアフリー化を促進する」の割合が 22.4%と他の障がいに比べて高くなっています。

療育手帳所持者では「グループホーム・ケアホームなどの共同住宅を増やす」の割合が 36.3%と最も高くなっています。

精神障がい者保健福祉手帳所持者では「障がい者が住みやすい公営住宅を増やす」の割合が 21.3%、「障がい者がいる世帯への公営住宅の優先枠を増やす」の割合が 16.1%と他の障がいに比べて高くなっています。

単位：%

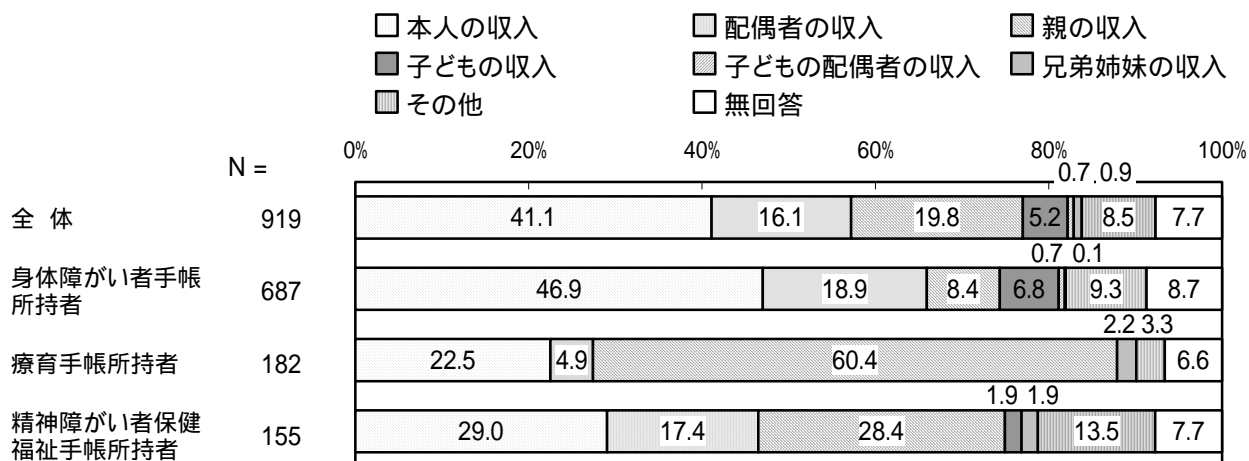
区分	有効回答数(件)	障がい者が住みやすい公営住宅を増やす	障がい者がいる世帯への公営住宅の優先枠を増やす	障がい者の住んでいる住宅の改造費を援助する	障がい者が住みやすい住宅への改造相談や助言をする	障がい者が住みやすい民間住宅の建設を誘導する	グループホーム・ケアホームなどの共同住宅を増やす	障がい者が借りやすい民間住宅を増やす	障がい者が住んでいる住宅の耐震化を促進する	障がい者が住んでいる住宅のバリアフリー化を促進する	その他	特にない	無回答
全体	919	14.6	9.1	27.7	10.3	4.7	14.6	7.7	11.9	19.7	2.0	30.9	10.8
身体障がい者手帳所持者	687	12.5	7.9	30.4	11.5	3.8	8.7	6.6	12.4	22.4	1.9	32.0	11.8
療育手帳所持者	182	15.9	7.7	22.5	9.9	6.6	36.3	6.0	11.0	15.9	4.4	23.1	9.3
精神障がい者保健福祉手帳所持者	155	21.3	16.1	15.5	6.5	4.5	16.1	13.5	8.4	11.0	2.6	32.3	11.6

3 生計について

問 19 あなたの生活費は、どのような収入でまかなわれていますか。(主となるもの1つに 印をつけてください。)

全体では「本人の収入」の割合が41.1%と最も高く、次いで「親の収入」の割合が19.8%、「配偶者の収入」の割合が16.1%となっています。

療育手帳所持者では「親の収入」の割合が60.4%と最も高くなっています。



問 20 あなたの収入の種類はどれですか。ご本人が児童（18歳未満）の場合、「7）収入なし」に 印を記入してください。（あてはまるものすべてに 印をつけてください。）

全体では「年金（障がい年金含む）」の割合が68.7%と最も高く、次いで「仕事による収入」の割合が16.1%、「収入なし」の割合が12.0%となっています。

療育手帳所持者では「収入なし」の割合が31.3%と他の障がいに比べて高くなっています。

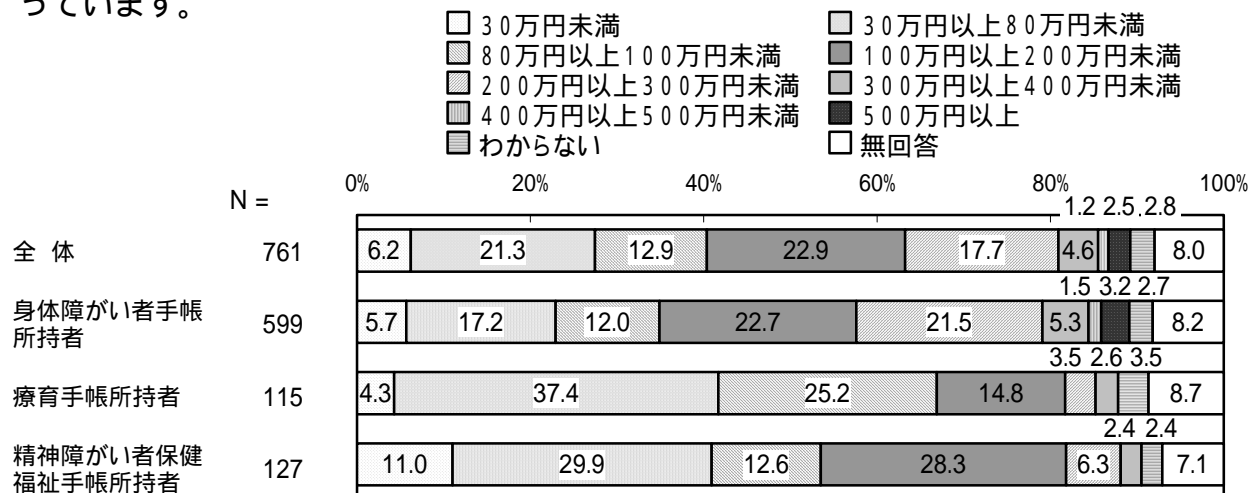
単位：%

区分	有効回答数(件)	仕事による収入	年金(障がい年金含む)	手当(特別障がい者手当等)	仕送り	生活保護費	その他	収入なし	無回答
全体	919	16.1	68.7	4.8	0.3	2.0	3.2	12.0	5.2
身体障がい者手帳所持者	687	15.3	74.1	4.9	0.1	2.0	2.6	7.0	5.8
療育手帳所持者	182	18.7	50.0	5.5	0.0	1.1	2.2	31.3	5.5
精神障がい者保健福祉手帳所持者	155	11.6	60.0	9.0	1.3	5.2	8.4	12.3	5.8

問 20 で (1) ~ (6) と答えた方にお聞きします。

問 20- あなたの収入（総収入）は、1年にどの程度ですか。（あてはまるもの1つに 印をつけてください。）

全体では「100万円以上200万円未満」の割合が22.9%と最も高く、次いで「30万円以上80万円未満」の割合が21.3%、「200万円以上300万円未満」の割合が17.7%となっています。



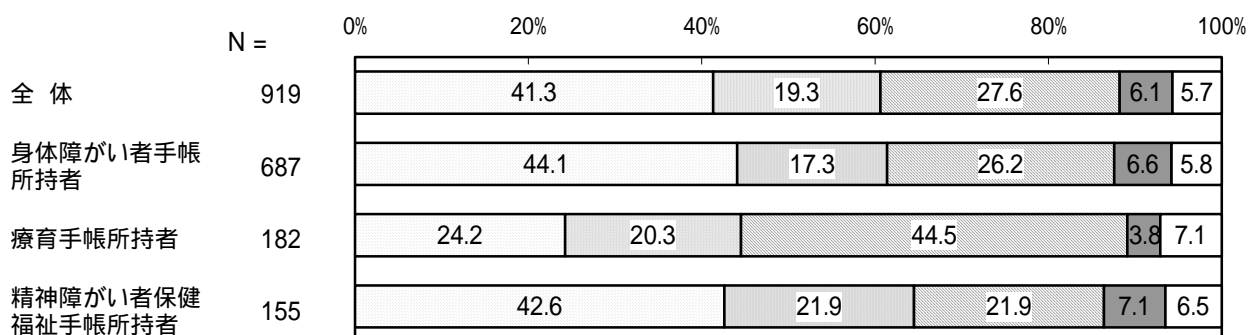
4 外出状況について

問 21 あなたは、外出する際、支援を必要としますか。(あてはまるもの1つに 印をつけてください。)

全体では「一人で外出できる」の割合が41.3%と最も高く、次いで「必ず支援を必要とする」の割合が27.6%、「外出先やその日の状況により支援が必要」の割合が19.3%となっています。

特に療育手帳所持者では「必ず支援を必要とする」の割合が44.5%と最も高くなっています。

- 一人で外出できる
- 外出先やその日の状況により支援が必要
- 必ず支援を必要とする
- 外出しない・外出できない
- 無回答



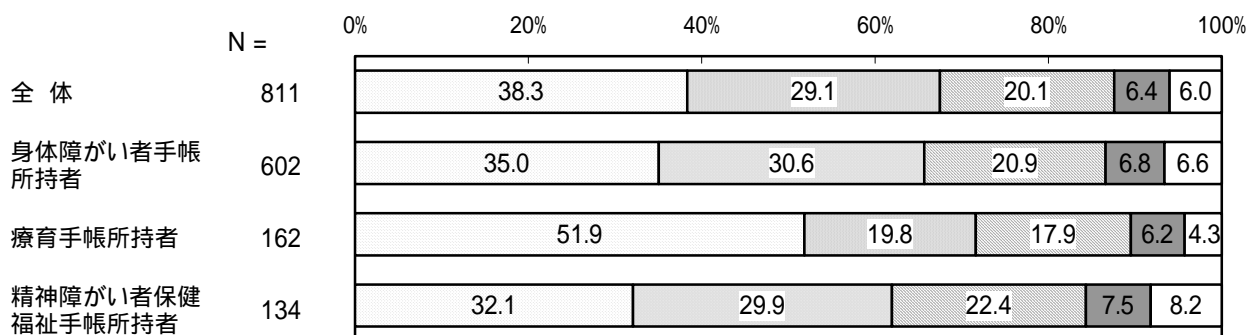
問 21 で「1) 一人で外出できる」「2) 外出先やその日の状況により支援が必要」「3) 必ず支援を必要とする」と答えた方にお聞きします。

問 21- あなたの外出回数はどのくらいですか。(あてはまるもの1つに 印をつけてください。)

全体では「ほぼ毎日」の割合が38.3%と最も高く、次いで「週に数回」の割合が29.1%、「月に数回」の割合が20.1%となっています。

療育手帳所持者では「ほぼ毎日」の割合が51.9%と最も高くなっています。

- ほぼ毎日
- 週に数回
- 月に数回
- 年に数回程度
- 無回答



問 21- あなたが外出する時に利用する主な移動手段は何ですか。(主なもの3つ以内に 印をつけてください。)

全体では「自家用車(乗せてもらう)」の割合が48.3%と最も高く、次いで「自家用車(自ら運転)」の割合が28.0%、「徒歩」の割合が27.7%となっています。

療育手帳所持者では「徒歩」の割合が45.7%と他の障がいと比べて高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	自家用車(自ら運転)	自家用車(乗せてもらう)	徒歩	バス	タクシー	福祉タクシー	自転車	電車	車いす	その他	無回答
全体	811	28.0	48.3	27.7	9.1	11.7	5.1	19.7	12.5	10.9	5.2	2.6
身体障がい者手帳所持者	602	33.6	45.5	21.9	8.1	13.6	6.6	17.1	10.3	13.0	6.0	3.0
療育手帳所持者	162	3.1	61.7	45.7	11.7	5.6	0.6	23.5	18.5	6.2	3.7	3.1
精神障がい者保健福祉手帳所持者	134	20.1	40.3	29.1	9.7	10.4	2.2	26.1	17.9	11.2	2.2	3.7

問 22 あなたが外出するうえで、主に困ることは何ですか。(主なもの3つ以内に 印をつけてください。)

全体では「介助者などがいないと外出が困難である」の割合が32.3%と最も高く、次いで「必要なときに手助けが得られない」の割合が13.6%となっています。なお、「特に困ることはない」の割合が26.2%となっています。

身体障がい者手帳所持者では「道路、公共交通機関、施設などがバリアフリーに改善されていない」の割合が10.3%、「歩道が完全に整備されていないため移動しにくい」の割合が10.5%、「障がい者用のトイレが整備されていない」の割合が11.9%と他の障がいと比べて高くなっています。

精神障がい者保健福祉手帳所持者では「人の目が気にかかる」の割合が21.3%、「外出するのにお金がかかる」の割合が22.6%となっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	介助者などがいないと外出が困難である	必要なときに手助けが得られない	道路、公共交通機関、施設などがバリアフリーに改善されていない	歩道が完全に整備されていないため移動しにくい	信号が早く変わるので渡れない	道路や歩道に電柱、放置自転車などの障がい物が多く危ない	音声増幅、ファックス付きの公衆電話が普及していない	耳のマイクなどの障がい者の表示が普及していない
全体	919	32.3	13.6	8.5	9.2	4.9	5.0	0.3	1.7
身体障がい者手帳所持者	687	30.9	12.5	10.3	10.5	5.4	5.8	0.4	2.3
療育手帳所持者	182	42.3	18.7	6.0	6.0	3.8	3.8	0.0	0.5
精神障がい者保健福祉手帳所持者	155	27.1	15.5	3.9	3.9	3.9	2.6	0.6	0.0

区分	手話通訳者・要約筆記者がいないため、会話をするのが困難である	障がい者用のトイレが整備されていない	外出に必要な情報が得られない(駐車場の案内図や点字マップなどの配置場所など)	視覚・聴覚障がい者に配慮した案内表示やアナウンスなどのサービスが適切でない	人の目が気にかかる	外出するのにお金がかかる	その他	特に困ることはない	無回答
全体	1.0	9.8	2.4	2.3	8.7	12.6	4.8	26.2	11.6
身体障がい者手帳所持者	1.3	11.9	3.1	2.9	4.7	11.9	4.7	26.5	12.1
療育手帳所持者	0.0	5.5	1.1	1.1	13.7	11.0	5.5	23.1	12.1
精神障がい者保健福祉手帳所持者	0.6	5.2	1.9	1.3	21.3	22.6	7.1	23.2	14.2

5 余暇・休日・放課後等について

問 23- あなたは、現在、余暇・休日・放課後等をどのように過ごしていますか。また、今後どのように過ごしたいと思いますか。
現在の過ごし方（あてはまるものすべてに 印をつけてください。）

全体では「自宅でテレビ・ビデオなどを見て過ごす」の割合が70.5%と最も高く、次いで「仲間の集まり」の割合が14.6%、「旅行」の割合が12.9%となっています。

身体障がい者手帳所持者では「仲間の集まり」の割合が16.0%、「旅行」の割合が14.8%と他の障がいに比べて高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	仲間の集まり	地域の集まり	ドライブ	趣味のサークル	ボランティア活動	障がい者団体の活動	スポーツやレクリエーション	習いごと	資格取得や職業訓練	パソコンを利用した活動	旅行	自宅でテレビ・ビデオなどを見て過ごす	その他	無回答
全 体	919	14.6	3.8	10.4	4.2	2.1	2.6	5.7	4.8	0.7	4.2	12.9	70.5	15.9	11.0
身体障がい者手帳所持者	687	16.0	4.1	11.1	5.1	2.6	0.9	6.6	4.7	0.9	3.5	14.8	68.7	15.0	12.1
療育手帳所持者	182	8.2	2.7	7.7	1.1	0.5	10.4	3.3	6.0	0.0	3.8	8.2	76.4	19.8	9.3
精神障がい者保健福祉手帳所持者	155	12.3	1.9	6.5	3.2	0.0	1.9	1.9	2.6	0.6	6.5	6.5	66.5	16.8	13.5

問 23- あなたは、現在、余暇・休日・放課後等をどのように過ごしていますか。また、今後どのように過ごしたいと思いますか。
 今後の過ごし方（あてはまるものすべてに 印をつけてください。）

全体では「自宅でテレビ・ビデオなどを見て過ごす」の割合が 58.8%と最も高く、次いで「旅行」の割合が 19.9%、「仲間の集まり」の割合が 19.6%となっています。

身体障がい者手帳所持者では「旅行」の割合が 22.9%と他の障がいに比べて高くなっています。

療育手帳所持者では「スポーツやレクリエーション」の割合が 10.4%と他の障がいに比べて高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	仲間の集まり	地域の集まり	ドライブ	趣味のサークル	ボランティア活動	障がい者団体の活動	スポーツやレクリエーション	習いごと	資格取得や職業訓練	パソコンを利用した活動	旅行	自宅でテレビ・ビデオなどを見て過ごす	その他	無回答
全 体	919	19.6	5.3	12.1	7.4	2.7	4.2	8.2	6.7	2.9	5.1	19.9	58.8	10.3	13.7
身体障がい者手帳所持者	687	20.2	5.5	13.4	7.4	3.3	2.0	7.9	7.3	2.0	4.7	22.9	56.2	10.3	15.1
療育手帳所持者	182	18.7	5.5	7.1	4.9	1.1	13.2	10.4	6.0	3.8	4.4	14.3	60.4	12.1	11.5
精神障がい者保健福祉手帳所持者	155	12.3	3.2	8.4	6.5	1.3	3.9	2.6	3.2	5.8	6.5	7.7	64.5	13.5	13.5

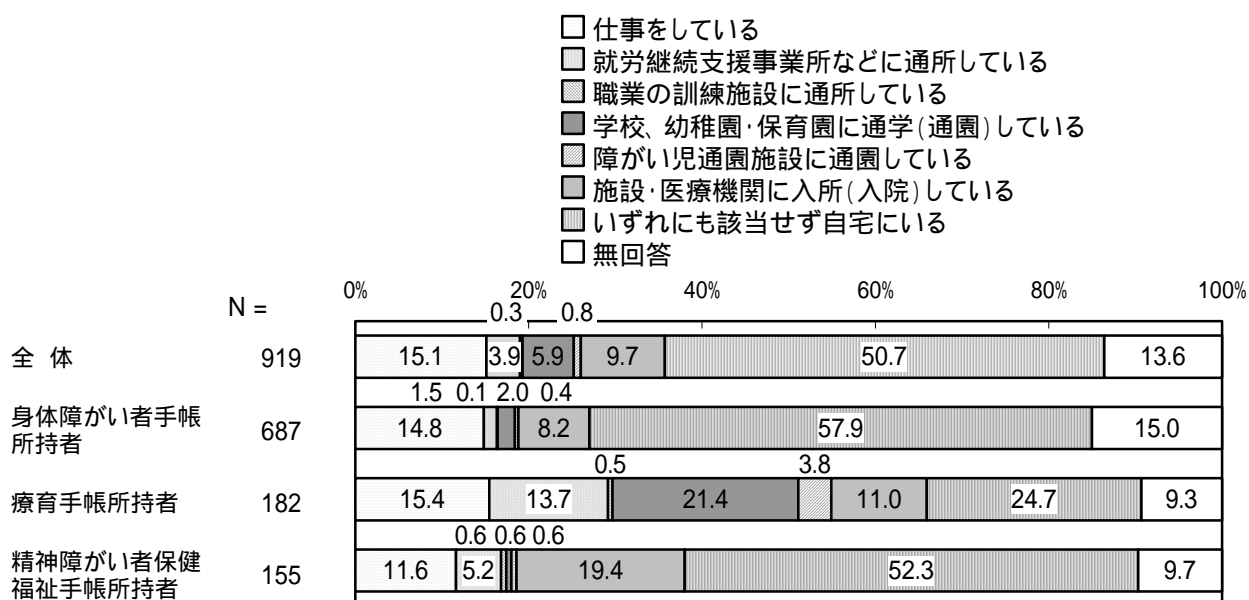
6 就労・就学などについて

問 24 あなたは、就労（就労継続支援・就労移行支援・作業所も含む。）もしくは就学をしていますか。（あてはまるもの1つに 印をつけてください。）

全体では「いずれにも該当せず自宅にいる」の割合が 50.7%と最も高く、次いで「仕事をしている」の割合が 15.1%、「施設・医療機関に入所（入院）している」の割合が 9.7%となっています。

療育手帳所持者では「就労継続支援事業所などに通所している」の割合が 13.7%、「学校、幼稚園・保育園に通学（通園）している」の割合が 21.4%と他の障がい者に比べて高くなっています。

精神障がい者保健福祉手帳所持者では「施設・医療機関に入所（入院）している」の割合が 19.4%と他の障がい者に比べて高くなっています。



問 24 で「 1 」仕事をしている」「 2) 就労継続支援事業所などに通所している」と答えた方にお聞きします。

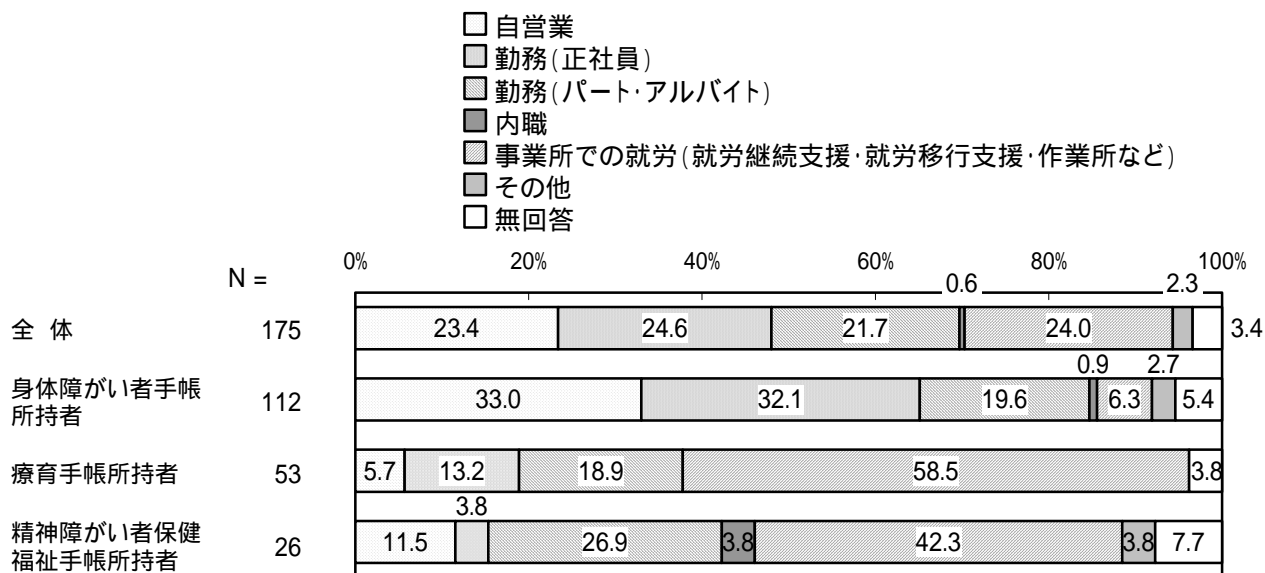
問 24- 仕事は何をされていますか。(あてはまるもの 1 つに 印をつけてください。)

全体では「勤務(正社員)」の割合が 24.6%と最も高く、次いで「事業所での就労(就労継続支援・就労移行支援・作業所など)」の割合が 24.0%、「自営業」の割合が 23.4%となっています。

身体障がい者手帳所持者では「自営業」の割合が 33.0%と最も高く、次いで「勤務(正社員)」の割合が 32.1%となっています。

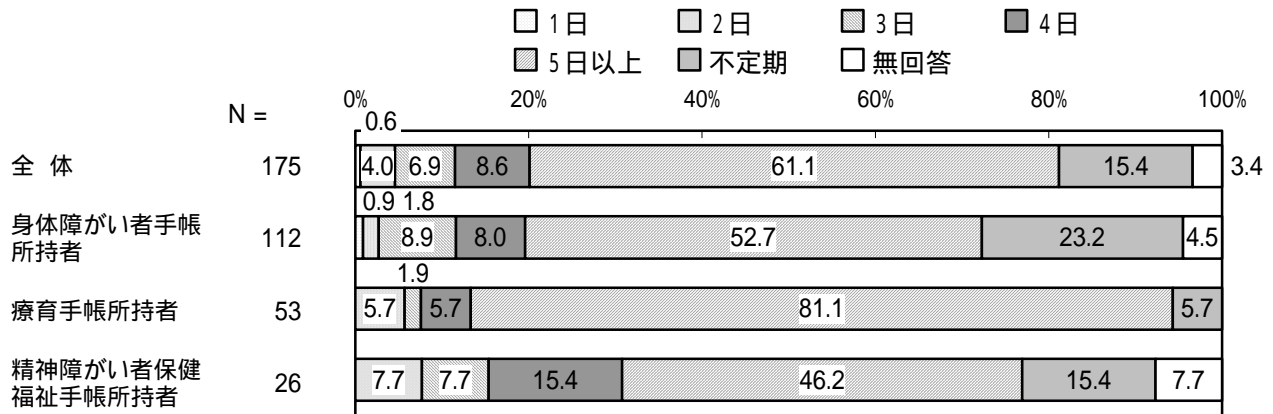
療育手帳所持者では「事業所での就労(就労継続支援・就労移行支援・作業所など)」の割合が 58.5%と最も高くなっています。

精神障がい者保健福祉手帳所持者では「事業所での就労(就労継続支援・就労移行支援・作業所など)」の割合が 42.3%と最も高く、次いで「勤務(パート・アルバイト)」の割合が 26.9%となっています。



問 24- 週に何日働いていますか。(あてはまるもの1つに 印をつけてください。)

全体では「5日以上」の割合が61.1%と最も高く、次いで「不定期」の割合が15.4%、「4日」の割合が8.6%となっています。



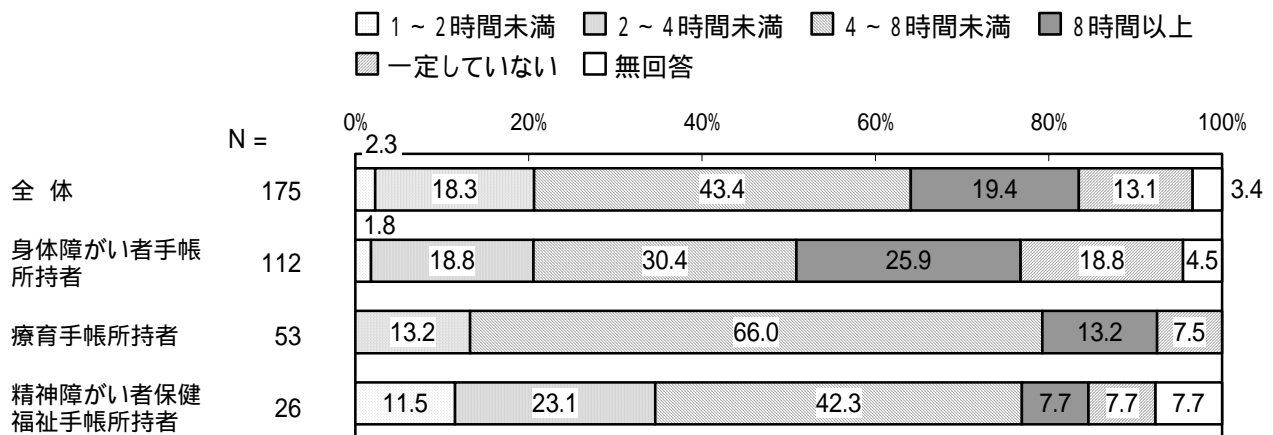
問 24- 1日に何時間働いていますか。(あてはまるもの1つに 印をつけてください。)

全体では「4～8時間未満」の割合が43.4%と最も高く、次いで「8時間以上」の割合が19.4%、「2～4時間未満」の割合が18.3%となっています。

身体障がい者手帳所有者では「8時間以上」の割合が25.9%となっています。

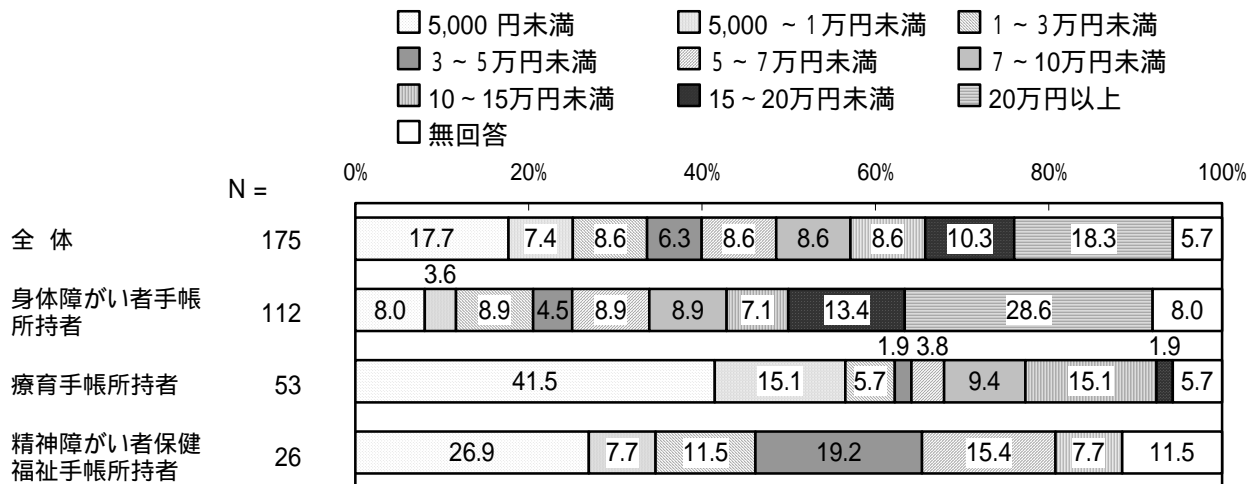
療育手帳所有者では「4～8時間未満」の割合が66.0%と最も高くなっています。

精神障がい者保健福祉手帳所有者では「1～2時間未満」の割合が11.5%、「2～4時間未満」の割合が23.1%と他の障がい者に比べて高くなっています。



問 24- 仕事や工賃による1か月の収入はどのくらいですか。
(あてはまるもの1つに 印をつけてください。)

全体では「20万円以上」の割合が18.3%と最も高く、次いで「5,000円未満」の割合が17.7%、「15～20万円未満」の割合が10.3%となっています。



問 24- 現在の仕事について、不安や不満を主にどのようなことで感じていますか。
(主なもの3つ以内に 印をつけてください。)

全体では「特にない」の割合が48.0%と最も高くなっています。一方、「障がいがない人と比べて給料が安い」の割合が17.7%となっています。

療育手帳所持者では「障がいがない人と比べて給料が安い」の割合が39.6%と最も高く、「通勤に支障がある」の割合が17.0%、「職場に相談する人がいない」の割合が13.2%と他の障がいに比べて高くなっています。

精神障がい者保健福祉手帳所持者では「人間関係がよくない」の割合が11.5%と他の障がいに比べて高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	職場の設備に支障がある	通勤に支障がある	人間関係がよくない	給料が安い 障がいがない人と比べて	意識が低い 障がいに対する配慮や	障がいに対する不安定である	職場に相談する人がいない	仕事が自分にとって難しい	自分のやりたい業務に就けない	その他	特にない	無回答
全体	175	3.4	6.9	7.4	17.7	4.6	6.3	6.9	4.0	2.3	10.3	48.0	6.9
身体障がい者手帳所持者	112	4.5	1.8	7.1	8.0	2.7	4.5	5.4	2.7	1.8	9.8	58.0	8.9
療育手帳所持者	53	0.0	17.0	5.7	39.6	7.5	7.5	13.2	5.7	1.9	11.3	28.3	3.8
精神障がい者保健福祉手帳所持者	26	3.8	3.8	11.5	11.5	3.8	7.7	7.7	7.7	3.8	19.2	38.5	3.8

問 24 で「 3 」職業の訓練施設に通所している」「 4) 学校、幼稚園・保育園に通学(通園)している」「 5) 障がい児通園施設に通園している」と答えた方にお聞きします。

問 24- 主にどのようなことで困っていますか。
(主なもの 3 つ以内に 印をつけてください。)

全体では「放課後・学校休日に遊べる友だちがいない」の割合が 39.1%と最も高く、次いで「園や学校が遠い」の割合が 28.1%となっています。なお、「特にない」の割合が 25.0%となっています。

身体障がい者手帳所持者では「園や学校が遠い」の割合が 72.2%と最も高くなっています。

療育手帳所持者では「放課後・学校休日に遊べる友だちがいない」の割合が 40.4%と最も高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	園や学校が遠い	授業についていけない	先生の理解が足りない	通常学級に入れてもらえない	受け入れてくれる学校が少ない	トイレなどの設備が配慮されていない	学校内・園内での介助が十分でない	放課後・学校休日に遊べる友だちがいない	その他	特にない	無回答
全体	64	28.1	14.1	7.8	3.1	4.7	4.7	7.8	39.1	9.4	25.0	6.3
身体障がい者手帳所持者	18	72.2	22.2	0.0	0.0	11.1	5.6	11.1	38.9	16.7	5.6	0.0
療育手帳所持者	47	19.1	10.6	10.6	4.3	2.1	6.4	6.4	40.4	8.5	27.7	6.4
精神障がい者保健福祉手帳所持者	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3

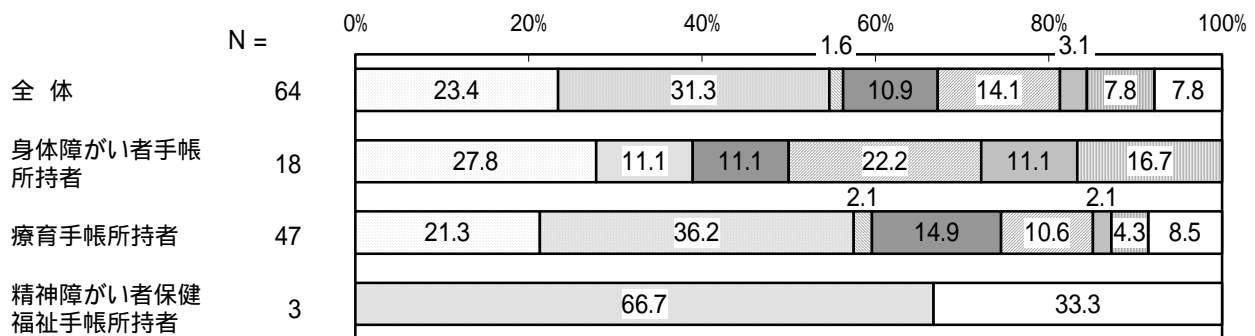
問 24- 現在、もっとも希望する卒園・卒業後の進路は何ですか。
 (あてはまるもの1つに 印をつけてください。)

全体では「特別支援学級・特別支援学校などに進学したい」の割合が31.3%と最も高く、次いで「普通の学校・大学・専門学校などに進学したい」の割合が23.4%、「就職したい」の割合が14.1%となっています。

身体障がい者手帳所持者では「普通の学校・大学・専門学校などに進学したい」の割合が27.8%と最も高く、次いで「就職したい」の割合が22.2%となっています。

療育手帳所持者では「特別支援学級・特別支援学校などに進学したい」の割合が36.2%と最も高く、次いで「普通の学校・大学・専門学校などに進学したい」の割合が21.3%となっています。

- 普通の学校・大学・専門学校などに進学したい
- 特別支援学級・特別支援学校などに進学したい
- 障がい児(者)施設に入所したい
- 障がい児(者)施設に通所したい
- 就職したい
- その他
- 特に考えていない
- 無回答



問 24 で「 7) いずれにも該当せず自宅にいる」と答えた方にお聞きします。

問 24- 自宅にいる主な理由は何ですか。(主なもの 3 つ以内に 印をつけてください。)

全体では「高年齢のため」の割合が 54.3%と最も高く、次いで「仕事ができる健康状態でないため」の割合が 35.2%、「障がいや病気の状況にあった仕事がないため」の割合が 15.7%となっています。

身体障がい者手帳所持者では「高年齢のため」の割合が 60.3%と最も高くなっています。

療育手帳所持者では「仕事ができる健康状態でないため」の割合が 26.7%と最も高く、次いで「高年齢のため」の割合が 24.4%となっています。

精神障がい者保健福祉手帳所持者では「仕事ができる健康状態でないため」の割合が 44.4%と最も高く、次いで「障がいや病気の状況にあった仕事がないため」の割合が 33.3%となっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	幼稚園、保育園、学校に通う年齢に達していないため	幼稚園、保育園、学校に通う年齢を受け入れてくれる幼稚園、保育園、学校に通う施設がないため	受け入れてくれる学校がないため	幼稚園、保育園、学校に通う健康状態でないため	入所通所できる施設がないため	障がいや病気の状況にあった仕事がないため	仕事ができる健康状態でないため	高年齢のため	家事を手伝うため	働きたくないため	その他	無回答
全 体	466	0.2	0.0	0.0	0.0	0.6	15.7	35.2	54.3	7.9	3.9	11.8	8.2
身体障がい者手帳所持者	398	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3	12.8	33.7	60.3	7.5	3.3	9.8	7.8
療育手帳所持者	45	0.0	0.0	0.0	0.0	2.2	15.6	26.7	24.4	8.9	4.4	17.8	26.7
精神障がい者保健福祉手帳所持者	81	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	33.3	44.4	21.0	12.3	6.2	17.3	9.9

問 25 あなたは、障がい者の方の就労を促進するために、主にどのような支援が必要であると思いますか。(主なもの3つ以内に 印をつけてください。)

全体では「特にない」の割合が20.7%と最も高くなっています。一方、「働きやすい職場環境づくりの指導」「就職先のあつ旋」の割合がともに18.7%となっています。

身体障がい者手帳所持者では「就職先のあつ旋」の割合が16.4%と最も高く、次いで「就職に関する総合相談」が16.3%となっています。

療育手帳所持者では「働きやすい職場環境づくりの指導」の割合が32.4%と最も高くなっています。

精神障がい者保健福祉手帳所持者では「就職に関する総合相談」の割合が19.4%と高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	就職に関する総合相談	働きやすい職場環境づくりの指導	就業希望者全員が働くことができるようにするための啓発	就労のための職業訓練	就職先のあつ旋	雇用の創出	就職後の支援	施設のアフターの促進	段差やしきりをなくすなど、動しやすい環境の改善	道路や公共交通機関など、移動しやすい環境の改善	その他	特にない	無回答
全体	919	18.3	18.7	10.7	12.4	18.7	8.7	14.7	8.5	9.1	1.5	20.7	27.3	
身体障がい者手帳所持者	687	16.3	14.7	8.7	10.9	16.4	8.0	10.8	10.2	10.5	1.2	21.0	32.0	
療育手帳所持者	182	21.4	32.4	18.1	14.8	24.2	12.6	24.7	2.7	3.3	2.7	15.9	22.5	
精神障がい者保健福祉手帳所持者	155	19.4	17.4	9.0	11.6	18.7	5.2	17.4	3.2	3.9	1.3	25.8	25.2	

7 災害など緊急事態の対応について

問 26 災害などの緊急事態が発生した場合、あなたは、緊急情報を得る手段として、主にどのような手段の効果が高いと思いますか。(主なもの3つ以内に 印をつけてください。)

全体では「テレビ」の割合が 78.5%と最も高く、次いで「ラジオ」の割合が 44.4%、「携帯電話」の割合が 27.6%となっています。

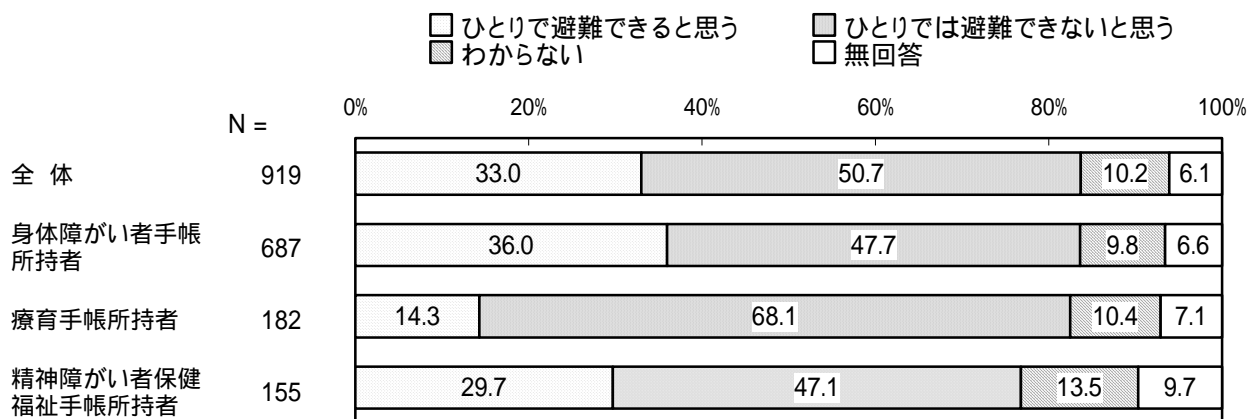
単位：%

区分	有効回答数(件)	テレビ	文字放送テレビ	ラジオ	ファックス	パソコン	携帯電話	その他	特にない	無回答
全体	919	78.5	7.1	44.4	2.1	6.2	27.6	5.7	3.7	7.4
身体障がい者手帳所持者	687	79.0	7.6	46.4	2.3	5.2	28.8	4.9	3.3	7.4
療育手帳所持者	182	65.9	7.7	34.1	1.1	7.7	24.7	10.4	7.1	11.5
精神障がい者保健福祉手帳所持者	155	78.7	5.8	36.8	1.9	7.7	21.3	3.2	3.9	10.3

問 27 あなたは、もし災害などの緊急事態が発生した場合、ひとりで避難できると思いますか。(あてはまるもの1つに 印をつけてください。)

全体では「ひとりで避難できないと思う」の割合が 50.7%と最も高く、次いで「ひとりで避難できると思う」の割合が 33.0%、「わからない」の割合が 10.2%となっています。

特に療育手帳所持者では「ひとりで避難できないと思う」の割合が 68.1%と他の障がいに比べて高くなっています。

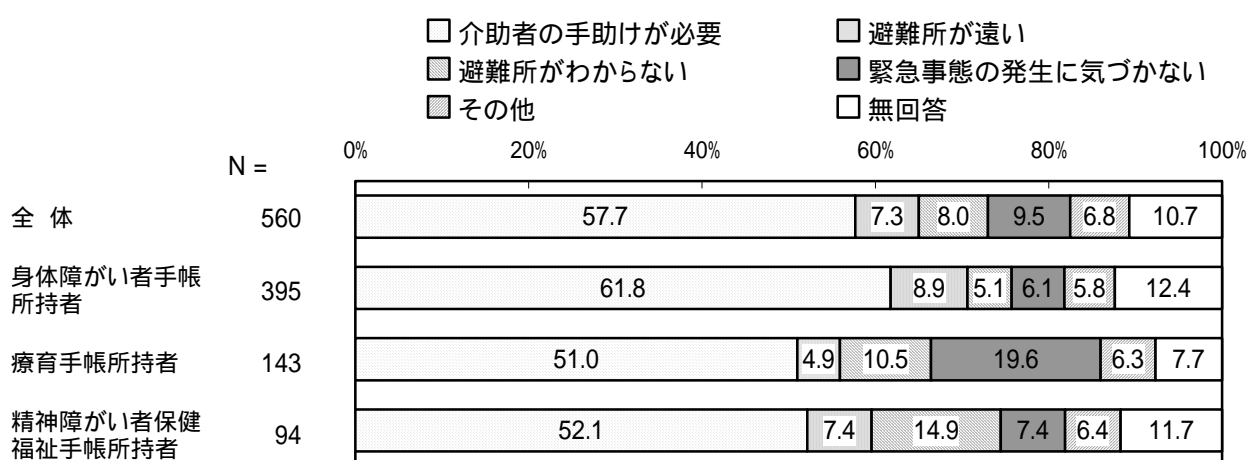


問 27 で「 2) ひとりでは避難できないと思う」「 3) わからない」と答えた方にお聞きします。

問 27- そのもっとも大きな理由は何ですか。(あてはまるもの 1 つに 印をつけてください。)

全体では「介助者の手助けが必要」の割合が 57.7%と最も高く、次いで「緊急事態の発生に気づかない」の割合が 9.5%、「避難所がわからない」の割合が 8.0%となっています。

療育手帳所持者では「緊急事態の発生に気づかない」の割合が 19.6%と他の障がい者に比べて高くなっています。



問 28 あなたが災害などの緊急事態に対応しなければならない場合、主にどのようなことに困ると思いますか。(主なもの3つ以内に 印をつけてください。)

全体では「安全なところまですばやく避難できない」の割合が 38.6%と最も高く、次いで「どのように対応すべきか判断できない」の割合が 29.8%、「何が起きているのか把握ができない」の割合が 26.7%となっています。

身体障がい者手帳所持者では「安全なところまですばやく避難できない」の割合が 43.4%と最も高く、次いで「避難所で、投薬や治療を受けることが難しい」の割合が 26.9%、「避難所に障がい者用トイレなど障がい者が生活できる環境が整っていない」の割合が 26.5%となっています。

療育手帳所持者では「どのように対応すべきか判断できない」の割合が 58.8%と最も高く、次いで「何が起きているのか把握ができない」の割合が 48.4%、「周りの人に援助を求めることができない」の割合が 29.7%、「安全なところまですばやく避難できない」の割合が 28.6%となっています。

精神障がい者保健福祉手帳所持者では「どのように対応すべきか判断できない」の割合が 39.4%と最も高く、次いで「何が起きているのか把握ができない」の割合が 26.5%、「避難所で、周りの人とうまくコミュニケーションが取れない」の割合が 25.8%となっています。

単位：%

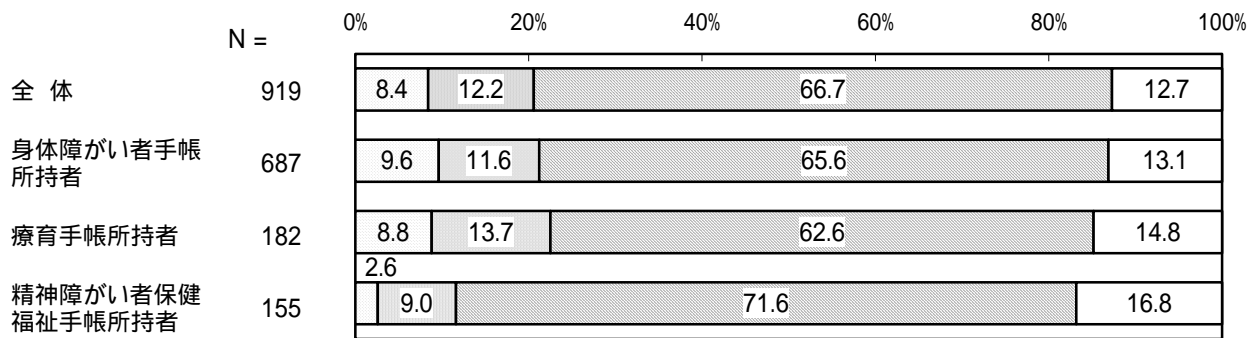
区分	有効回答数(件)	何が起きているのか把握ができない	どのように対応すべきか判断できない	周りの人に援助を求めることができない	安全なところまですばやく避難できない	避難所で周りの人とうまくコミュニケーションが取れない	避難所で、被害状況や物資の収集などの情報が入手できない	避難所で 投薬や治療を受けることが難しい	避難所に障がい者用トイレなど障がい者が生活できる環境が整っていない	その他	特に困ることはない	無回答
全 体	919	26.7	29.8	16.0	38.6	12.9	6.2	24.0	20.6	3.6	10.7	10.4
身体障がい者手帳所持者	687	21.4	20.7	13.4	43.4	8.0	5.4	26.9	26.5	3.6	12.1	10.9
療育手帳所持者	182	48.4	58.8	29.7	28.6	24.7	9.9	11.5	6.6	2.2	4.4	9.3
精神障がい者保健福祉手帳所持者	155	26.5	39.4	16.1	23.2	25.8	4.5	23.2	4.5	4.5	11.6	12.9

問 29 あなたは、要援護者支援台帳（災害時における支援を地域の中で受けられるようにするための要援護者のリスト）に登録していますか。（あてはまるもの1つに印をつけてください。）

全体では「要援護者支援台帳を知らない」の割合が66.7%と最も高く、次いで「要援護者支援台帳を知っているが登録していない」の割合が12.2%、「登録している」の割合が8.4%となっています。

精神障がい者保健福祉手帳所持者では「要援護者支援台帳を知らない」の割合が71.6%と他の障がいに比べて高くなっています。

- 登録している
- 要援護者支援台帳を知っているが登録していない
- 要援護者支援台帳を知らない
- 無回答



8 福祉情報の入手方法について

問 30 あなたは、現在、主にどのような手段で必要となる福祉情報を得ていますか。また、今後どのような手段で得たいと思いますか。(あてはまるもの3つ以内に 印をつけてください。)

【現在利用している情報手段】

全体では「市の広報や回覧」の割合が 56.7%と最も高く、次いで「新聞やテレビ・ラジオ」の割合が 25.1%、「家族」の割合が 19.9%となっています。

療育手帳所持者では「事業所(作業所含む)」の割合が 20.9%と他の障がい者に比べて高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	市の広報や回覧	誌 障がい者団体などの機関	健師の訪問 民生委員・児童委員や保	市などの行政窓口	新聞やテレビ・ラジオ	電話による問い合わせ	ルやホームページ	パーソナルなどによるメ ールやホームページ	携帯電話などによるメ ールやホームページ	学校	事業所(作業所含む)	家族	その他	特 に な い	無 回 答
全 体	919	56.7	6.4	2.8	15.9	25.1	6.9	2.3	1.6	3.4	5.4	19.9	4.6	11.6	7.7	
身体障がい者手帳 所持者	687	59.4	5.8	3.1	16.4	27.8	7.7	2.5	1.5	1.5	2.3	19.1	3.3	11.5	8.4	
療育手帳所持者	182	46.7	9.9	3.8	16.5	14.3	6.0	2.7	1.1	12.6	20.9	24.2	3.8	8.8	7.7	
精神障がい者保健 福祉手帳所持者	155	44.5	5.2	4.5	12.9	20.6	7.7	0.6	1.9	1.3	2.6	22.6	9.0	17.4	8.4	

【今後利用したい情報手段】

全体では「市の広報や回覧」の割合が48.0%と最も高く、次いで「新聞やテレビ・ラジオ」の割合が24.0%、「市などの行政窓口」の割合が18.8%となっています。

療育手帳所持者では「事業所（作業所含む）」の割合が19.8%と他の障がい者に比べて高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	市の広報や回覧	障がい者団体などの機関誌	民生委員 児童委員や保健師の訪問	市などの行政窓口	新聞やテレビ・ラジオ	電話による問い合わせ	パソコンなどによるメールやホームページ	携帯電話などによるメールやホームページ	学校	事業所(作業所含む)	家族	その他	特にない	無回答
全体	919	48.0	8.8	6.9	18.8	24.0	8.8	6.6	6.4	2.1	5.8	12.2	2.6	11.0	12.6
身体障がい者手帳所持者	687	49.9	8.0	6.7	18.9	25.3	9.8	5.4	5.8	0.9	2.6	11.9	1.7	11.2	13.5
療育手帳所持者	182	41.2	8.8	11.0	22.0	18.1	8.2	8.8	6.6	6.6	19.8	16.5	1.1	9.9	9.9
精神障がい者保健福祉手帳所持者	155	36.8	11.0	9.0	19.4	23.9	6.5	6.5	5.8	0.6	6.5	14.2	6.5	11.6	11.6

問 31 あなたは、主にどのような福祉情報を知りたいですか。(主なもの3つ以内に 印をつけてください。)

全体では「各種福祉サービスや社会保障制度などの内容や利用の仕方について」の割合が40.4%と最も高く、次いで「医療に関することについて」の割合が36.0%となっています。

療育手帳所持者では「障がい者向けの公的住宅やグループホーム・ケアホームなどについて」の割合が20.3%と他の障がいに比べて高くなっています。

精神障がい者保健福祉手帳所持者では「医療に関することについて」の割合が31.0%と最も高くなっています。

単位：%

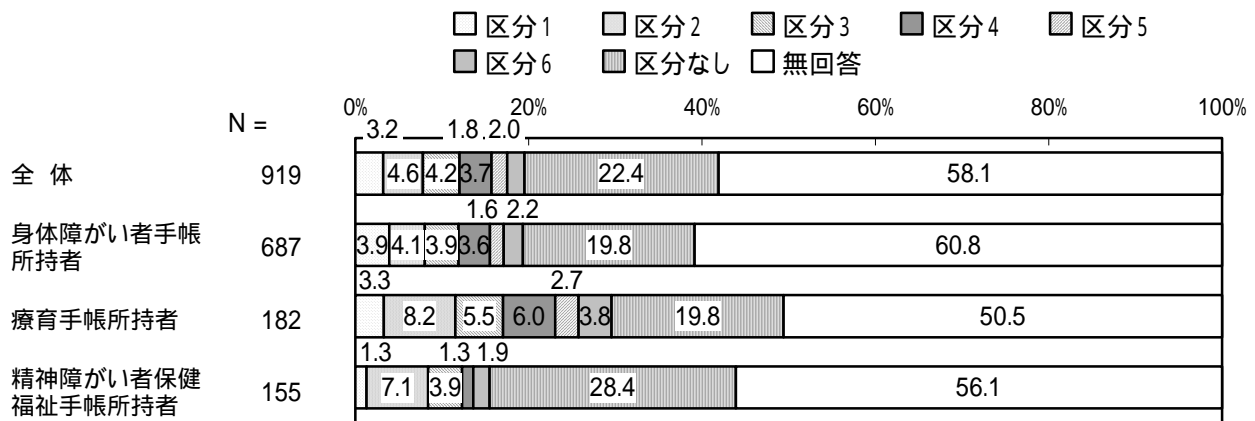
区分	有効回答数(件)	医療に関することについて	各種福祉サービスや社会保障制度などの内容や利用の仕方について	障がい者向けの公的住宅やグループホーム・ケアホームなどについて	障がい者向けの公的住宅やグループホーム・ケアホームなどについて	悩みごとが相談できる人や団体、機関について	同じような障がいを持つ仲間と出会える場について	職業訓練や就職情報などの就労支援について	障がい者も参加できる地域の行事やイベント、講座などについて	障がい者が外出先で利用できる施設などについて	その他	特になし	無回答
全体	919	36.0	40.4	10.6	13.6	10.2	7.4	6.6	16.4	1.2	19.0	12.5	
身体障がい者手帳所持者	687	39.9	40.8	7.9	10.8	8.2	4.4	5.1	17.2	1.3	19.5	13.1	
療育手帳所持者	182	20.9	42.3	20.3	18.7	15.9	13.7	12.1	17.6	1.1	15.4	12.6	
精神障がい者保健福祉手帳所持者	155	31.0	29.7	11.0	22.6	15.5	11.0	3.9	11.0	0.6	24.5	15.5	

9 障がい者サービスについて

問 32 あなたの障がい程度区分をお答えください。(あてはまるもの1つに 印をつけてください。)

全体では「区分なし」の割合が22.4%と最も高く、次いで「区分2」の割合が4.6%、「区分3」の割合が4.2%となっています。

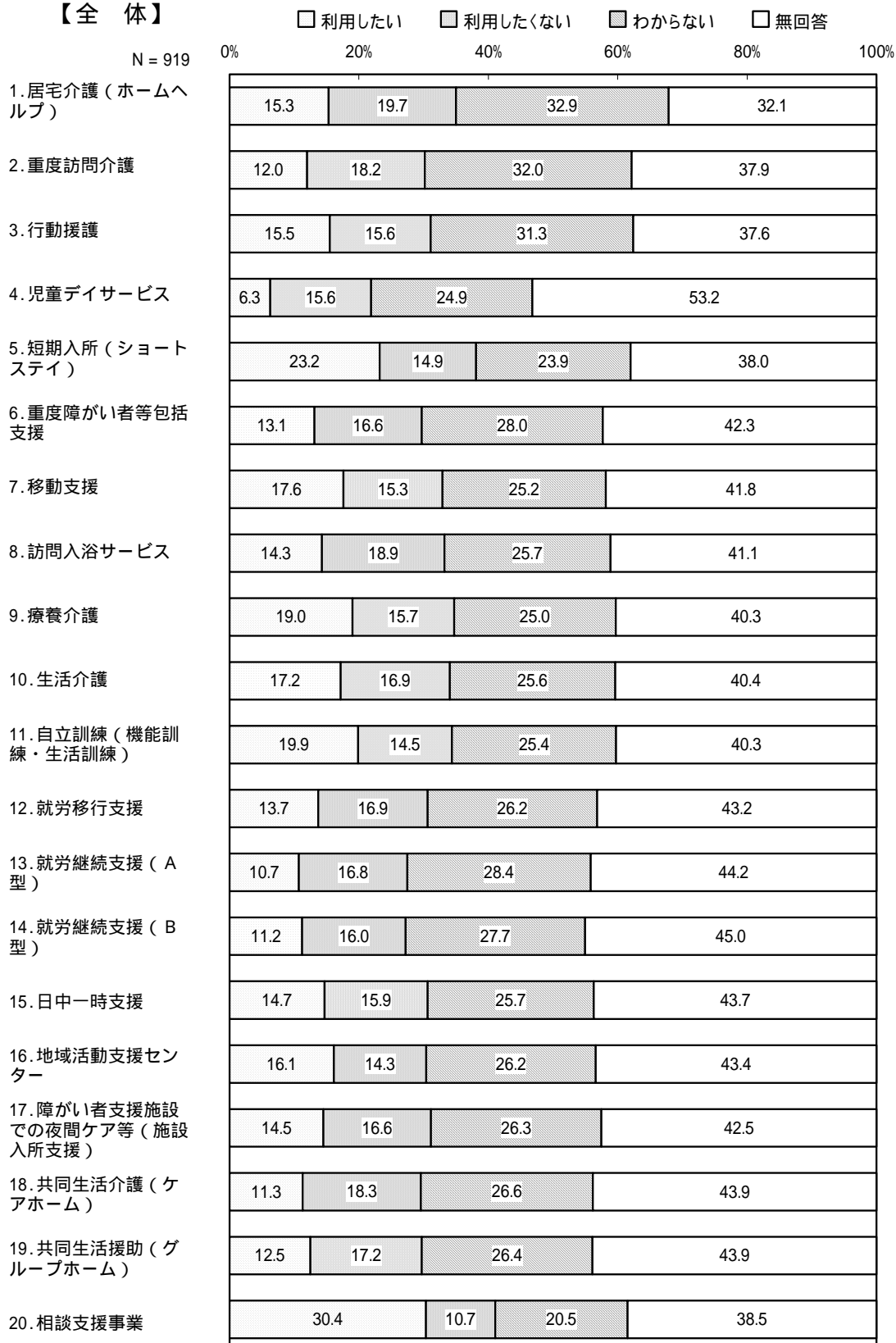
精神障がい者保健福祉手帳所持者では「区分なし」の割合が28.4%と他の障がいに比べて高くなっています



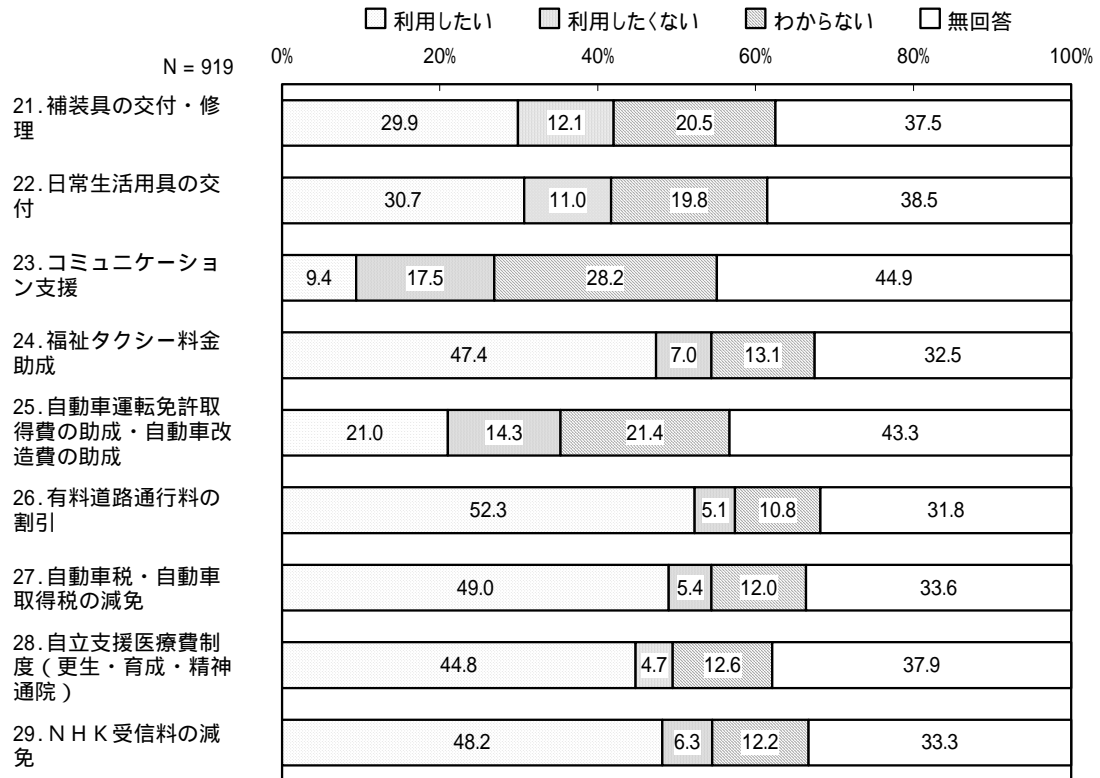
問 33 あなたは、以下のサービスについて、今後利用したいと思いますか。(それぞれあてはまるもの1つに 印をつけてください。)

全体では福祉タクシー料金助成、有料道路通行料の割引、自動車税・自動車取得税の減免、NHK受信料の減免で「利用したい」の割合が約5割と高くなっています。一方、児童デイサービス、コミュニケーション支援で「利用したい」が1割未満と低くなっています。

【全 体】



【全 体 (つづき)】



身体障がい者手帳所持者では福祉タクシー料金助成、有料道路通行料の割引、自動車税・自動車取得税の減免、NHK受信料の減免で「利用したい」の割合が約5割と高くなっています。一方、児童デイサービス、就労移行支援、就労継続支援（A型）、就労継続支援（B型）、日中一時支援、共同生活援助（グループホーム）、コミュニケーション支援で「利用したい」の割合が1割未満と低くなっています。

【身体障がい者手帳所持者】

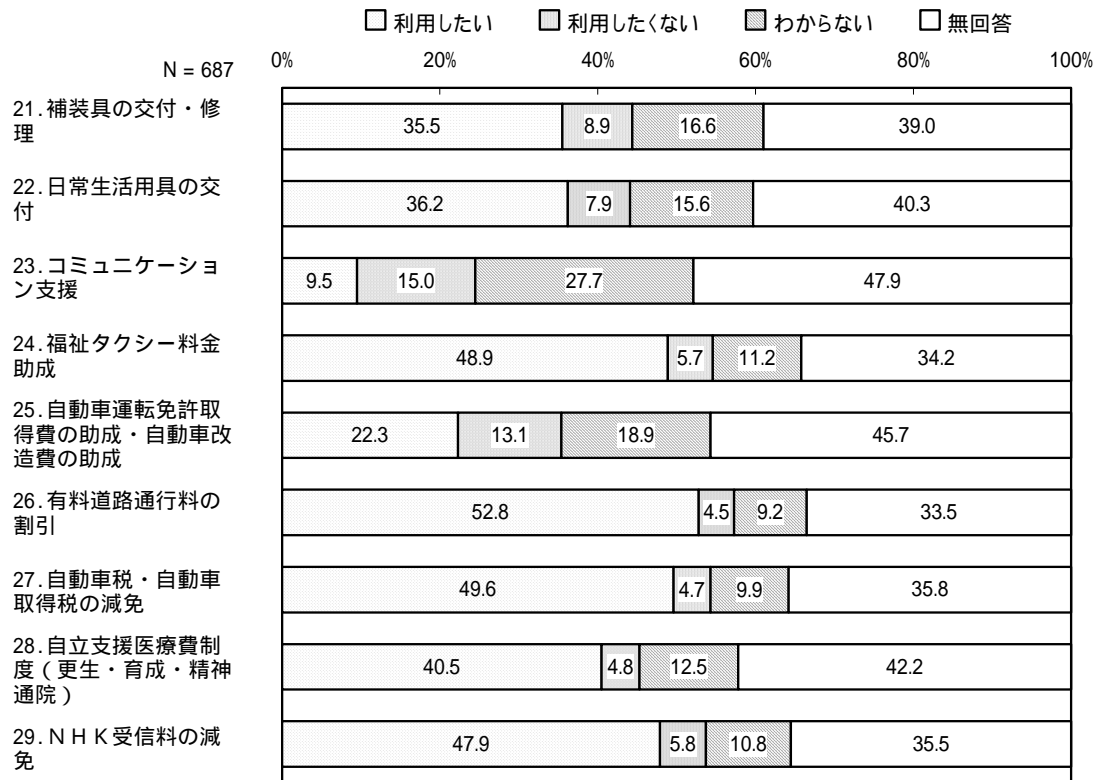
利用したい 利用したくない わからない 無回答

N = 687

0% 20% 40% 60% 80% 100%

	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
1. 居宅介護（ホームヘルプ）	16.9	17.2	32.3	33.6
2. 重度訪問介護	13.8	15.0	31.6	39.6
3. 行動援護	12.5	15.0	31.9	40.6
4. 児童デイサービス	3.6	14.4	24.6	57.4
5. 短期入所（ショートステイ）	21.5	13.2	24.0	41.2
6. 重度障がい者等包括支援	14.3	14.1	26.3	45.3
7. 移動支援	16.0	13.4	25.0	45.6
8. 訪問入浴サービス	16.9	15.0	24.3	43.8
9. 療養介護	20.4	12.8	23.7	43.1
10. 生活介護	17.5	14.1	24.7	43.7
11. 自立訓練（機能訓練・生活訓練）	17.8	14.1	24.2	44.0
12. 就労移行支援	8.6	18.6	25.8	47.0
13. 就労継続支援（A型）	6.6	17.8	27.7	48.0
14. 就労継続支援（B型）	5.7	17.6	27.4	49.3
15. 日中一時支援	9.3	16.3	26.5	47.9
16. 地域活動支援センター	12.4	14.7	25.2	47.7
17. 障がい者支援施設での夜間ケア等（施設入所支援）	14.1	14.4	25.0	46.4
18. 共同生活介護（ケアホーム）	10.2	16.7	25.6	47.5
19. 共同生活援助（グループホーム）	9.3	16.6	25.9	48.2
20. 相談支援事業	26.6	10.5	19.8	43.1

【身体障がい者手帳所持者（つづき）】



療育手帳所持者では有料道路通行料の割引、自動車税・自動車取得税の減免、自立支援医療費制度（更生・育成・精神通院）、NHK受信料の減免で「利用したい」の割合が5割以上と高くなっています。一方、重度訪問介護、訪問入浴サービスで「利用したい」の割合が1割未満と低くなっています。

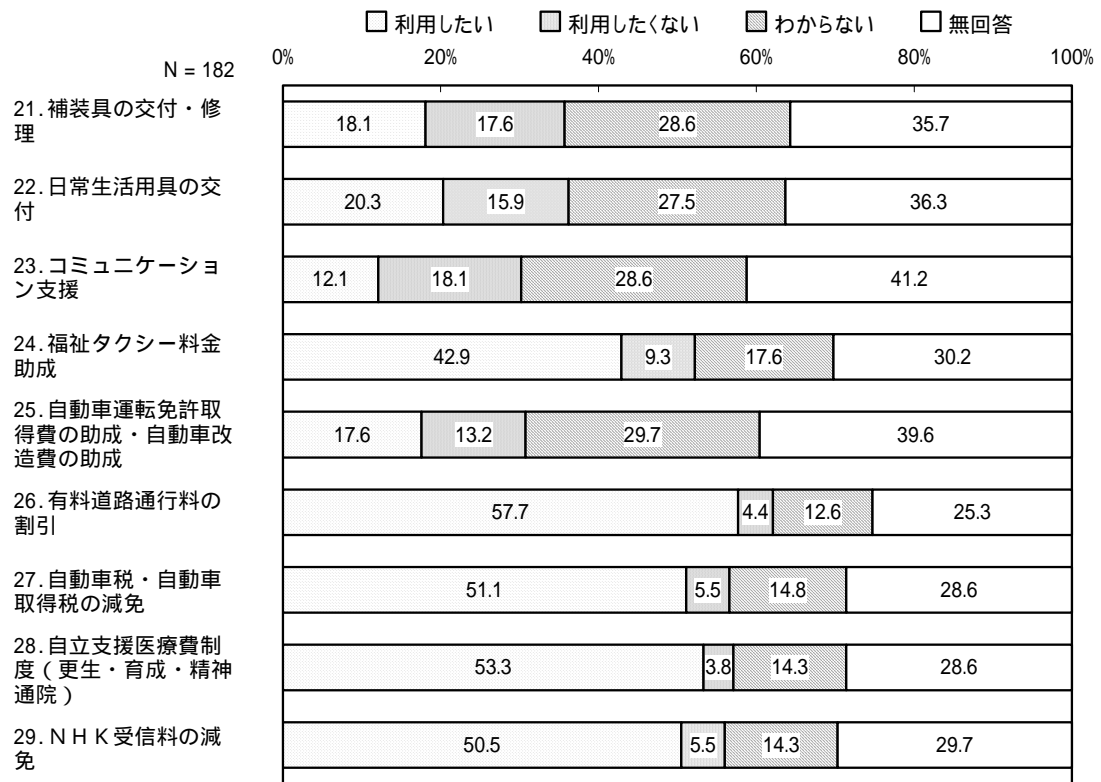
【療育手帳所持者】

N = 182

0% 20% 40% 60% 80% 100%
 利用したい 利用したくない わからない 無回答

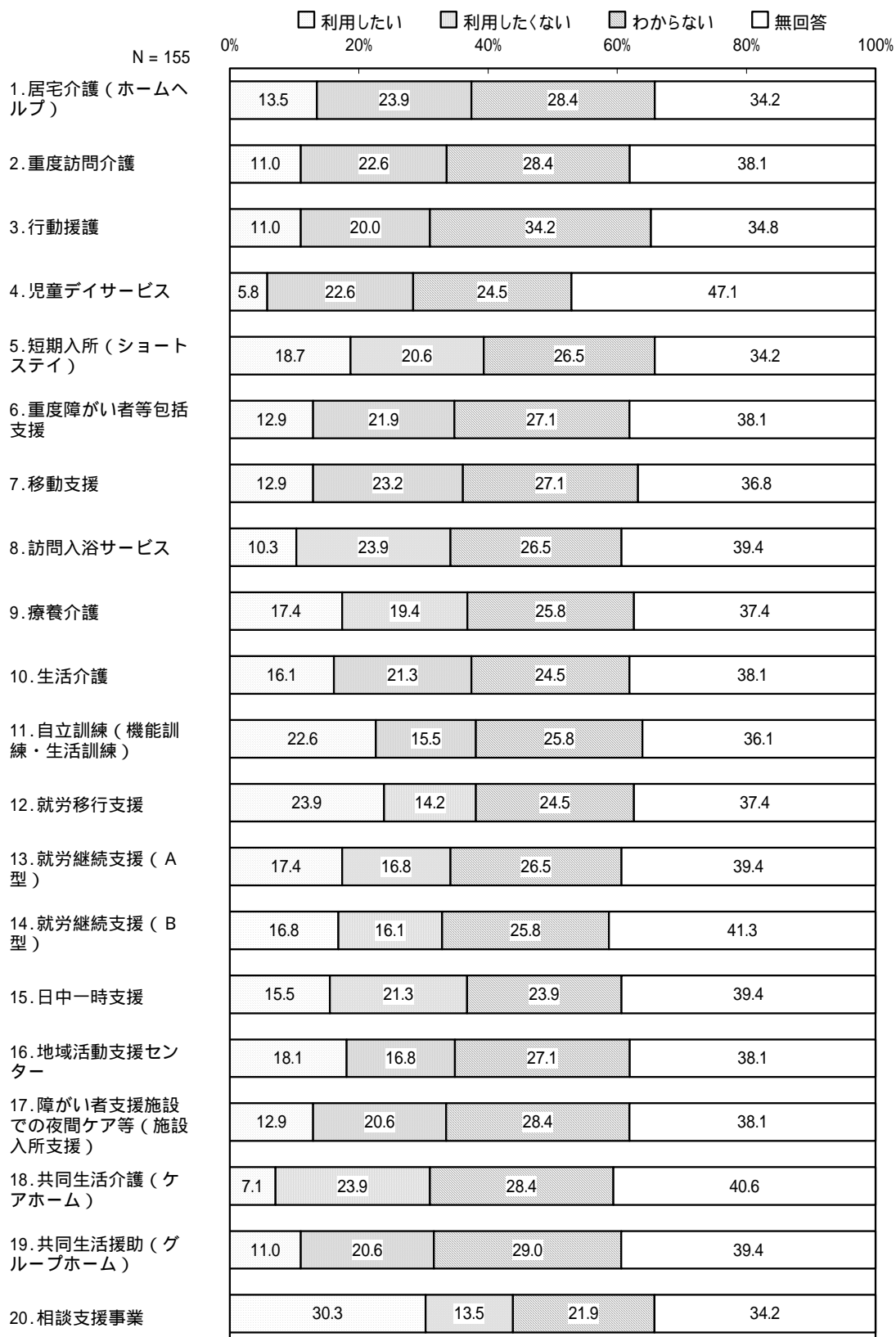
サービス名	利用したい	利用したくない	わからない	無回答
1. 居宅介護（ホームヘルプ）	11.0	22.5	36.3	30.2
2. 重度訪問介護	7.7	23.6	34.1	34.6
3. 行動援護	31.9	12.6	26.4	29.1
4. 児童デイサービス	20.9	12.1	24.2	42.9
5. 短期入所（ショートステイ）	36.8	13.2	19.8	30.2
6. 重度障がい者等包括支援	12.6	19.2	31.9	36.3
7. 移動支援	29.7	15.4	22.5	32.4
8. 訪問入浴サービス	9.9	26.4	28.0	35.7
9. 療養介護	15.9	19.8	30.8	33.5
10. 生活介護	18.7	18.7	30.2	32.4
11. 自立訓練（機能訓練・生活訓練）	25.8	13.7	28.6	31.9
12. 就労移行支援	26.4	11.5	28.0	34.1
13. 就労継続支援（A型）	20.3	10.4	34.6	34.6
14. 就労継続支援（B型）	26.4	7.7	31.3	34.6
15. 日中一時支援	33.5	8.8	24.7	33.0
16. 地域活動支援センター	33.0	7.7	25.8	33.5
17. 障がい者支援施設での夜間ケア等（施設入所支援）	19.8	16.5	29.7	34.1
18. 共同生活介護（ケアホーム）	18.1	17.0	29.1	35.7
19. 共同生活援助（グループホーム）	24.7	13.7	27.5	34.1
20. 相談支援事業	44.0	7.1	22.0	26.9

【療育手帳所持者（つづき）】

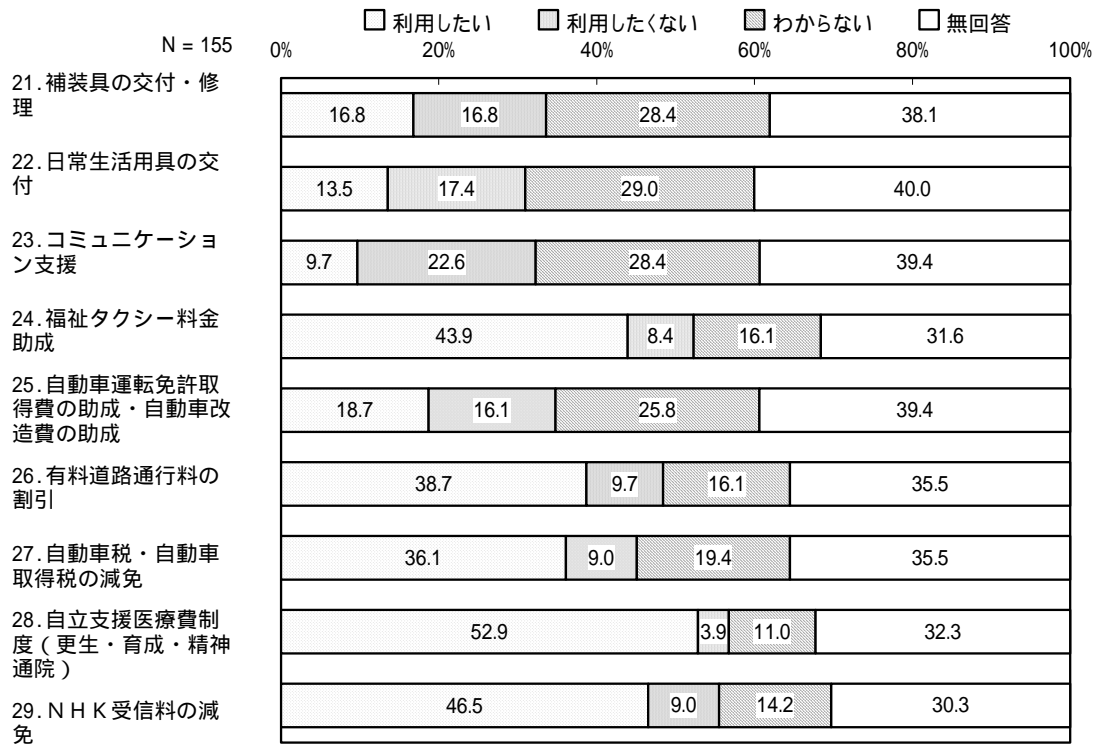


精神障がい者保健福祉手帳所持者では自立支援医療費制度（更生・育成・精神通院）NHK受信料の減免で「利用したい」の割合が約5割と高くなっています。一方、児童デイサービス、共同生活介護（ケアホーム）、コミュニケーション支援で「利用したい」の割合が1割未満と低くなっています。

【精神障がい者保健福祉手帳所持者】



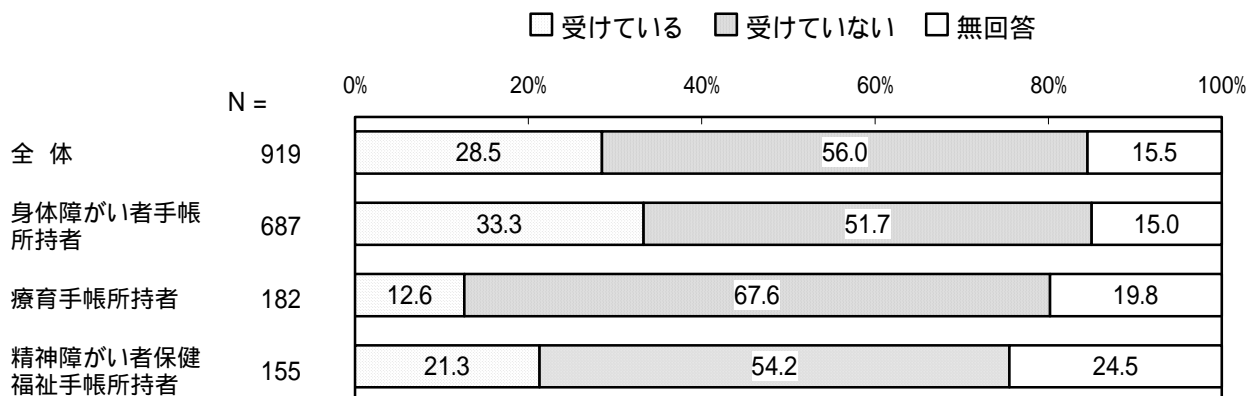
【精神障がい者保健福祉手帳所持者】



問 34 あなたは、介護保険の認定を受けていますか。(あてはまる方に 印をつけてください。また、「1) 受けている」に 印をつけた方は、その区分についてあてはまるもの1つに 印をつけてください。)

全体では「受けている」の割合が 28.5%、「受けていない」の割合が 56.0%となっています。

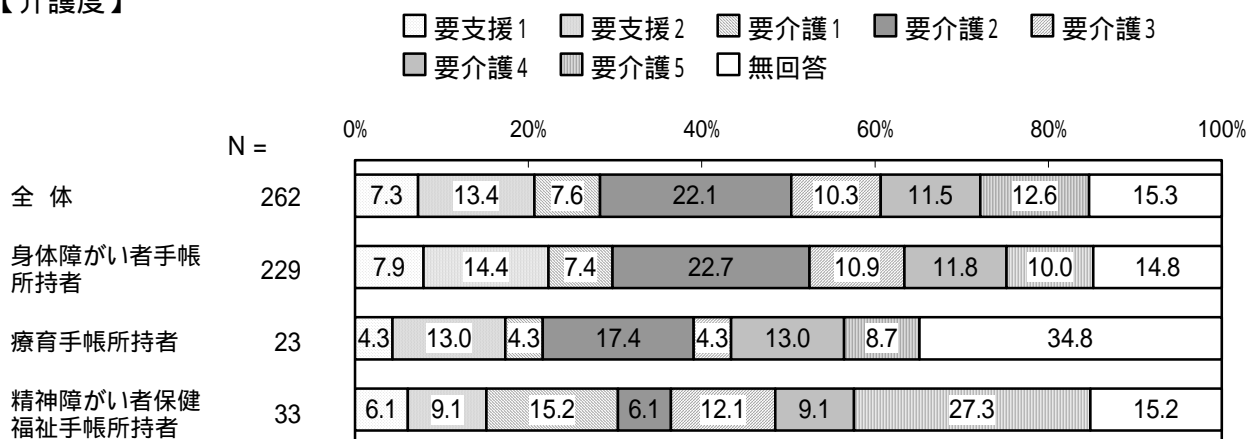
身体障がい者手帳所持者では「受けている」の割合が 33.3%と他の障がいに比べてなっています。



介護度をみると、全体では「要介護 2」の割合が 22.1%と最も高く、次いで「要支援 2」の割合が 13.4%、「要介護 5」の割合が 12.6%となっています。

精神障がい者保健福祉手帳所持者では「要介護 5」の割合が 27.3%と最も高くなっています。

【介護度】

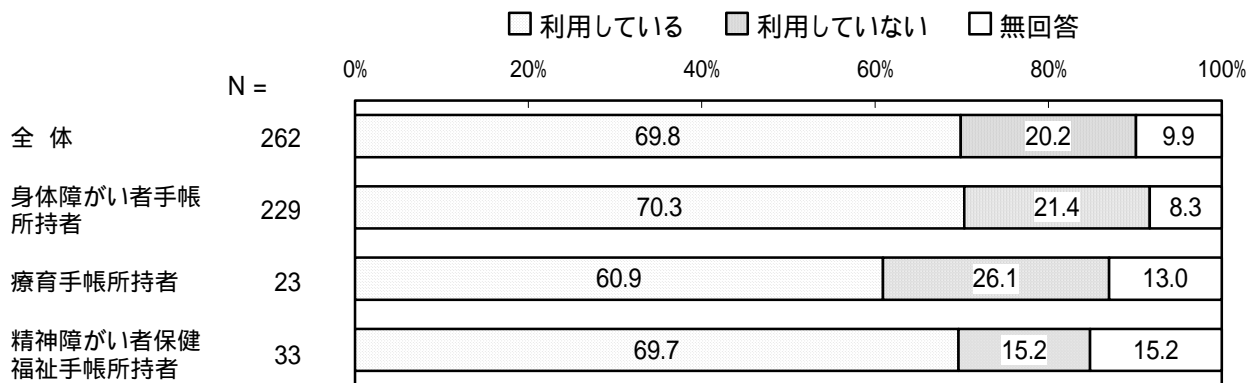


問 34 で「 1) 受けている」と答えた方にお聞きします。

問 34- 介護保険のサービスを利用していますか。(あてはまる方に 印をつけてください。)

全体では「利用している」の割合が 69.8%、「利用していない」の割合が 20.2%となっています。

身体障がい者手帳所持者、精神障がい者保健福祉手帳所持者では「利用している」の割合が療育手帳所持者に比べて高く、身体障がい者手帳所持者で 70.3%、精神障がい者保健福祉手帳所持者で 69.7%となっています。

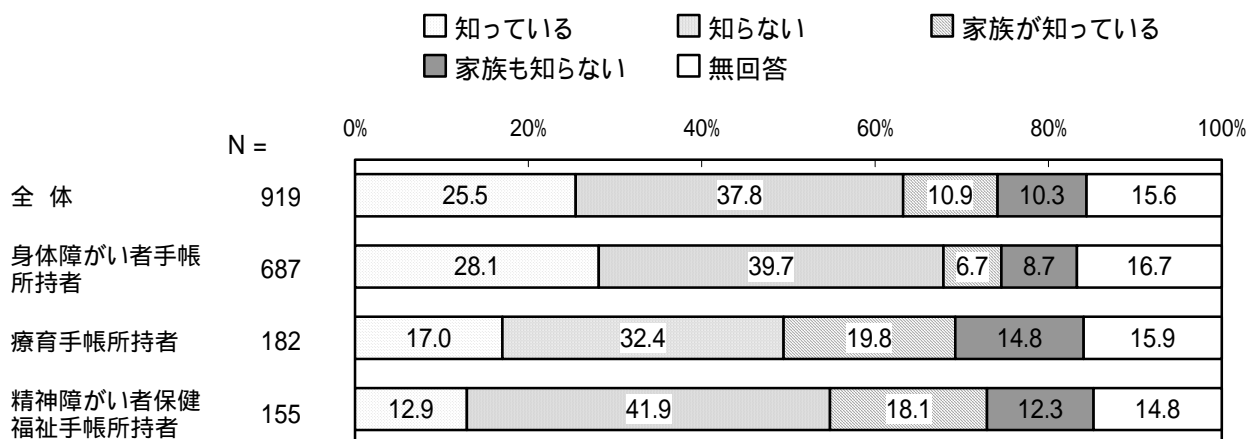


10 その他の支援について

問 35 あなた、またはご家族は、成年後見制度（財産管理や契約などを支援する制度）について、知っていますか。（あてはまるもの1つに 印をつけてください。）

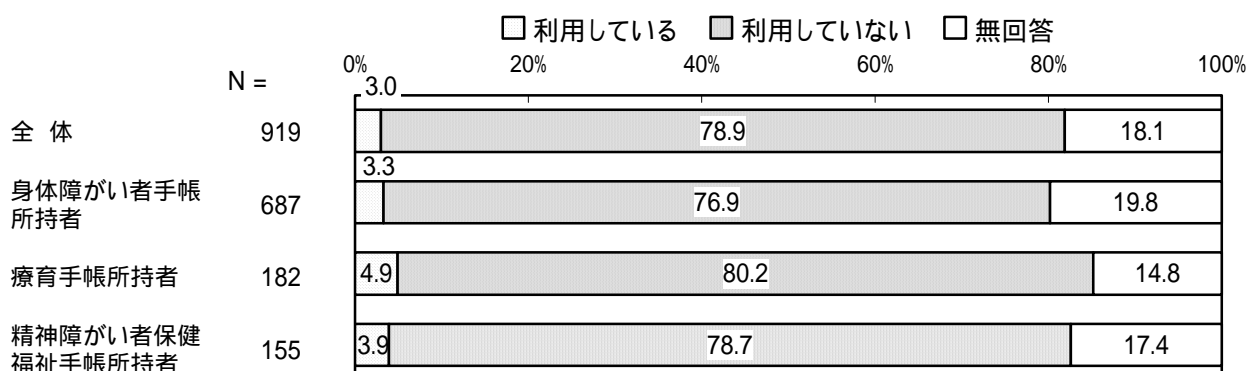
全体では「知らない」の割合が37.8%と最も高くなっています。また、「知っている」の割合が25.5%、「家族が知っている」の割合が10.9%となっています。

療育手帳所持者、精神障がい者保健福祉手帳所持者では「家族が知っている」の割合が身体障がい者手帳所持者に比べて高く、療育手帳所持者で19.8%、精神障がい者保健福祉手帳所持者で18.1%となっています。



問 36 あなたは、成年後見制度を利用していますか。(あてはまる方に 印をつけてください。)

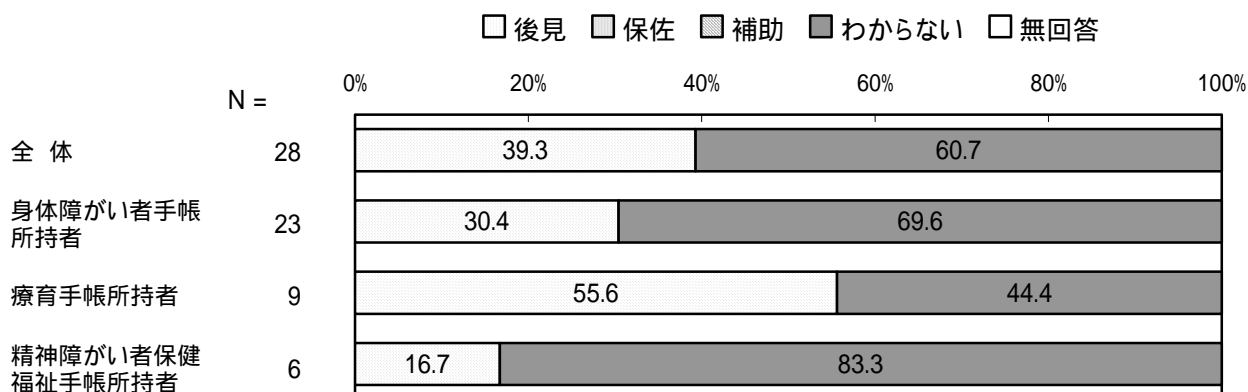
全体では「利用している」の割合が 3.0%となっています。



問 36 で「1) 利用している」を選択した方にお聞きします。

問 36- 利用している成年後見制度の形態(類型)は次のどれですか。(あてはまるものの1つに 印をつけてください。)

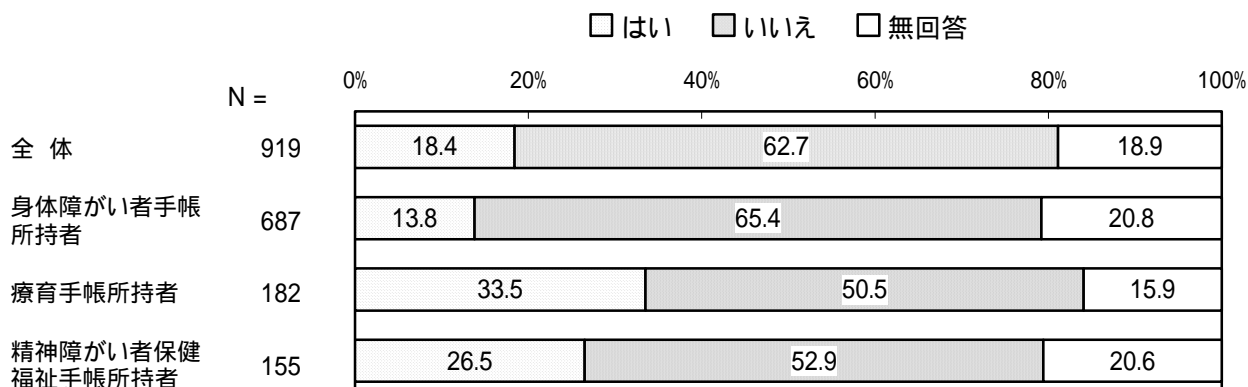
全体では「後見」の割合が 39.3%、「わからない」の割合が 60.7%となっています。



問 37 将来、成年後見制度を利用したいと思いますか。(あてはまる方に 印をつけてください。)

全体では「はい」の割合が 18.4%、「いいえ」の割合が 62.7%となっています。

療育手帳所有者、精神障がい者保健福祉手帳所有者では「はい」の割合が身体障がい者手帳所有者に比べて高く、療育手帳所有者で 33.5%、精神障がい者保健福祉手帳で 26.5%となっています。



問 37 で「 2) いいえ」と答えた方にお聞きします。

問 37- なぜ利用したくないのですか。(主なもの 3 つ以内に 印をつけてください。)

全体では「信頼する家族がいるから」の割合が 77.6%と最も高く、次いで「どういうときに利用していいかわからないから」の割合が 16.8%、「他人(家族・親族を含む)に財産などを任せることに不安があるから」の割合が 11.8%となっています。

精神障がい者保健福祉手帳所持者では「手続きが大変そうだから」の割合が 19.5%、「どういうときに利用していいかわからないから」の割合が 25.6%と他の障がいに比べて高くなっています。

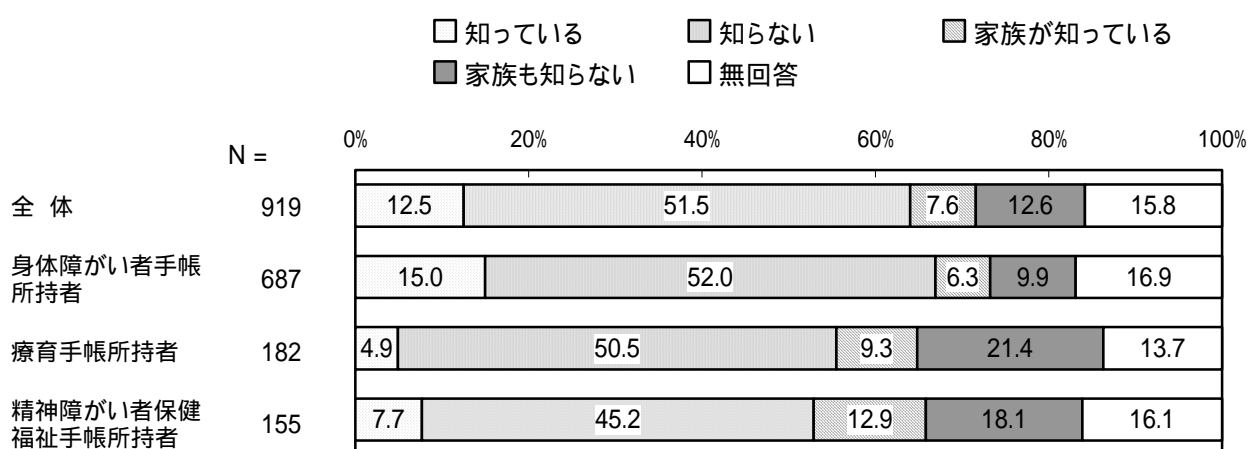
単位：%

区分	有効回答数(件)	信頼する家族がいるから	他人(家族・親族を含む)に財産などを任せることに不安があるから	家族・親族の信頼関係が崩れる恐れがあるから	後見人になってほしい人が見あたらないから	手続きが大変そうだから	費用がどのくらいかかるか心配だから	抗があるから	家庭裁判所に申し立てることに抵抗があるから	どういうときに利用していいかわからないから	その他	無回答
全 体	576	77.6	11.8	4.2	5.0	7.8	8.5	1.7	16.8	3.0	3.0	
身体障がい者手帳所持者	449	80.0	10.2	4.5	3.8	4.9	6.5	1.6	16.0	3.6	2.7	
療育手帳所持者	92	70.7	15.2	3.3	5.4	12.0	14.1	0.0	19.6	3.3	5.4	
精神障がい者保健福祉手帳所持者	82	59.8	12.2	2.4	8.5	19.5	12.2	3.7	25.6	4.9	3.7	

問 38 あなた、またはご家族は、社会福祉協議会が実施している日常生活自立支援事業（契約の判断、お金の出し入れ、書類の整理等に不安のある方が安心して暮らせるよう援助する制度）について、知っていますか。（あてはまるもの1つに 印をつけてください。）

全体では「知らない」の割合が 51.5%と最も高く、次いで「家族も知らない」の割合が 12.6%、「知っている」の割合が 12.5%となっています。

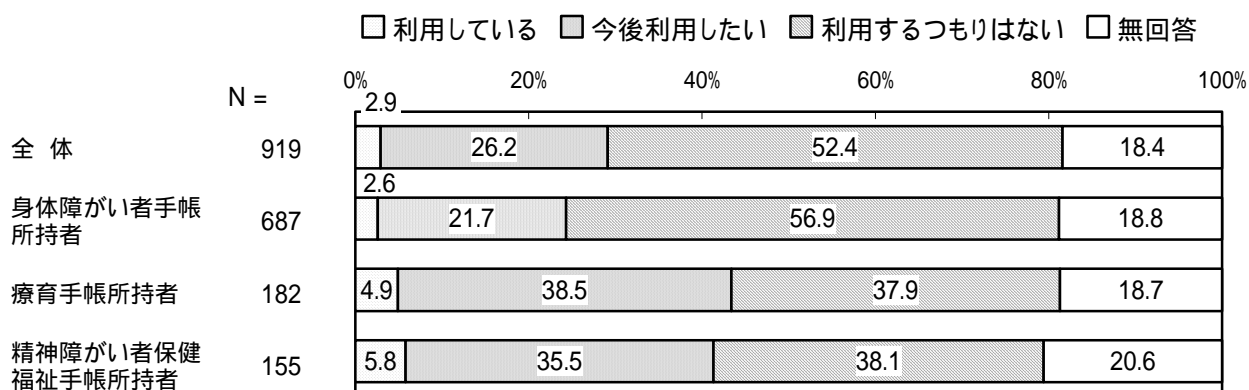
療育手帳所持者と精神障がい者保健福祉手帳所持者では「家族も知らない」の割合が身体障がい者手帳所持者に比べて高く、療育手帳所持者で 21.4%、精神障がい者保健福祉手帳で 18.1%となっています。



問 39 将来、日常生活自立支援事業の利用についてお答えください。（あてはまる方に印をつけてください。）

全体では「利用するつもりはない」の割合が 52.4%と最も高く、次いで「今後利用したい」の割合が 26.2%、「利用している」の割合が 2.9%となっています。

療育手帳所持者、精神障がい者保健福祉手帳所持者では「今後利用したい」の割合が身体障がい者手帳所持者に比べて高く、療育手帳所持者で 38.5%、精神障がい者保健福祉手帳所持者で 35.5%となっています。



問 39 で「 3 」利用するつもりはない」と答えた方にお聞きします。

問 39- なぜ利用したくないのですか。(主なもの 3 つ以内に 印をつけてください。)

全体では「信頼する家族がいるから」の割合が 79.9%と最も高く、次いで「どういうときに利用していいかわからないから」の割合が 17.6%、「他人(家族・親族を含む)に財産などを任せることに不安があるから」の割合が 9.8%となっています。

精神障がい者保健福祉手帳所持者では「費用がどのくらいかかるか心配だから」の割合が 16.9%、「どういうときに利用していいかわからないから」の割合が 25.4%と他の障がいに比べて高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	信頼する家族がいるから	他人(家族・親族を含む)に財産などを任せることに不安があるから	家族・親族の信頼関係が崩れる恐れがあるから	手続きが大変そうだから	費用がどのくらいかかるか心配だから	社会福祉協議会に依頼することに抵抗があるから	どういうときに利用していいかわからないから	その他	無回答
全 体	482	79.9	9.8	5.2	7.5	7.9	3.5	17.6	3.3	1.0
身体障がい者手帳所持者	391	80.8	9.0	5.9	7.2	5.9	1.8	17.4	3.8	1.0
療育手帳所持者	69	79.7	11.6	2.9	5.8	11.6	10.1	14.5	2.9	4.3
精神障がい者保健福祉手帳所持者	59	64.4	10.2	0.0	11.9	16.9	6.8	25.4	5.1	1.7

11 今後のまちづくりについて

問 40 障がいのある人にとって、暮らしやすいまちづくりを行うために、どのようなことが必要だと考えますか。(主なもの5つ以内に 印をつけてください。)

全体では「年金などの経済的な支援を充実する」の割合が44.8%と最も高く、次いで「気軽に何でも相談できるような体制を充実する」の割合が36.6%、「健康づくりや医療面での支援サービスを充実する」の割合が31.9%となっています。

療育手帳所持者では「気軽に何でも相談できるような体制を充実する」の割合が42.9%と他の障がいに比べて高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	障がいに対する市民の理解を深めるような、啓発活動を積極的に行う	文化活動などを通して、地域の人々との交流を活発にする	気軽に何でも相談できるような体制を充実する	健康づくりや医療面での支援サービスを充実する	自宅で受けられる支援サービスを充実する	施設に入所、通所して受けられる支援サービスを充実する	職員、ボランティアを育てる	障がいのある人の生活を支えるヘルパーや職員、ボランティアを育てる	地域に住む人が力を合せて、障がいのある人を支えていく体制づくりをすすめる	教育や就労など、障がいのある人の自立にむけた取り組みを充実する	年金などの経済的な支援を充実する	住宅や交通機関など、障がいのある人が暮らしやすいまちづくりをすすめる	その他	わからない	無回答
全 体	919	28.3	8.2	36.6	31.9	24.9	23.7	22.9	13.7	14.4	44.8	28.4	1.8	7.6	13.5	
身体障がい者手帳所持者	687	26.2	7.9	35.8	33.0	26.9	21.8	21.7	13.1	8.6	43.1	29.5	1.6	7.4	15.3	
療育手帳所持者	182	34.6	12.1	42.9	24.2	19.2	31.9	35.7	17.6	32.4	51.1	25.8	2.7	5.5	9.9	
精神障がい者保健福祉手帳所持者	155	25.2	5.2	36.8	31.6	19.4	20.6	12.3	10.3	14.8	40.6	23.9	3.2	11.0	12.9	

自由意見・参考意見等

1 ご本人

(1) 啓発・広報活動の推進

- ・ 毎日の活動を市民にアピールしてほしいです。(広報に掲載)(2件)
- ・ 広報をいろいろな人にみてもらいたいです。少しでも、理解をしてほしいからです。
- ・ 外国のことも勉強し、日本人にあった津島にあった福祉事業を考えてみたいと思います。
- ・ 市の施策について十分な知識がないので、読みやすい資料があればと思います。(2件)

(2) 地域福祉活動の推進

- ・ 周りの人の心遣いを、日頃から勇気を出しあって話しあえる地域でありたいと思います。

(3) 相談体制・情報提供の充実

- ・ 障がい者の福祉に関する情報がわかりにくいし、少ないです。わかりやすくしてほしいです。(6件)
- ・ 困ったことを何でも相談できる雰囲気、いつでもほしいと思います。(3件)

(4) 保健・医療の充実

- ・ 医療費を負担してもらえるようにしてほしいです。(6件)
- ・ 内臓に障がいがある者にとっては、医療関係の充実(病院等)を図ってほしいです。
- ・ 精神障がい者でも、精神科以外の医療機関も受けられるように医療費を免除してほしいです。
- ・ 予防注射等について、市外でも近くの医院でできるようにして頂きたいです。

(5) 福祉サービスの充実

- ・ 福祉用具や装具の補助をいくらかでもお願いします。(4件)
- ・ 福祉サービスを受けておりますので大変助かります。(3件)
- ・ 福祉サービスを一層充実していくことに努力していただきたい。(2件)
- ・ 障がい者手当を今より増やしてください。(2件)
- ・ 市としてのリハビリステーション総合施設がほしいです。(2件)
- ・ 年金の収入範囲で入所、生活できるような施設をたくさんつくってほしいです。(2件)
- ・ ケアマネジャーにはとても親切にいただき、引き続きお世話になればと思っています。
- ・ 日頃快適に1日でも元気に暮らせるような福祉施策をお願いしたいと思います。
- ・ ショートステイの入所を充実してほしいです。
- ・ 手話ができる人をお願いしたいと思います。
- ・ 自立に向けて手助けをよろしくお願いします。

(6) 保育・教育の充実

- ・ 地域の中学校に通いたいが、教科毎の移動など不自由なことが多いです。養護学校を選択せざるをえませんが、養護学校も1時間の通学に体力がもつか不安です。

(7) 雇用・就労の促進

- ・ 就職をしようと思って面接などにも関わらず、学校などで断られるところが多いです。
- ・ 若くして障がいを持った人たちには、就職や自立の支援などを手厚くしてほしいです。
- ・ 障がいがあっても働ける所が少なすぎます。障がい者だというと断られます。

(8) 社会参加活動の促進

- ・ 社会の中でとり残されず、何かできる場があれば良いと思いますが、なかなかありません。
- ・ 若い障がい者が生き生きと活動できる場や機会をつくっていただくことだと思います。
- ・ 気楽に話せる障がい者の友がほしいです。そのような友が見つかる場所が与えられるとよいです。

(9) 生活環境の整備

- ・ タクシー券の枚数を増やしてください。(6件)
- ・ 市民病院の障がい者駐車場の無料化。
- ・ 介護保険の認定を受けてみると何も使えるものがなく、民間の方が早くて親切です。
- ・ 自分の生まれたところに行きたいのですが、JR、タクシーなど介助が必要なので考えています。
- ・ 津島市のふれあいバスの乗車料金を介助者とも無料にしてほしいです。
- ・ バスよりもタクシー割引を強化した方がよいように思います。
- ・ バス停(巡回バス)に座る所がありません。椅子がほしいです。
- ・ 障がい者用の駐車場について、一般車両の駐車禁止を徹底できないでしょうか。
- ・ 障がい者用トイレが、子どものオムツ交換のトイレと一緒にしているので別々にしてほしいです。
- ・ 道路の整備をお願いします。車いすでは困難な道が多すぎると思います。
- ・ 歩行障がい者ですが、歩行困難になった場合、巡回バスの途中乗車等は実施できないでしょうか。
- ・ ひとり暮らし用の公営住宅を設置してほしいです。

(10) その他

- ・ 津島市の障がい者福祉施策に対して感謝しています。(5件)
- ・ 障がい者が生活できるようにしてもらいたい。(3件)
- ・ 障がいをもった人に優しくしてほしいです。(3件)
- ・ 私は市の税金を使用しないように毎日がんばっています。障がいに甘えてはいけません。(2件)
- ・ 障がいがあっても考慮されず、役が回ってくることを考えてほしいです。(2件)
- ・ 現在でも十分な恩恵を受けており満足しています。(2件)
- ・ このアンケートを活かし、障がい者福祉行政に積極的に取り組んでほしいです。(3件)
- ・ 今後アンケートはお断りします。(2件)
- ・ アンケートの質問の意味がわかりにくいものがあり、解答に困りました。
- ・ 市から来る書類は字が小さくて読みづらいです。
- ・ 息子が思うように働けないため、この年になって働かねばなりません。先を思うと非常に不安です。
- ・ ひとりで何もできなくなることがとても心配です。
- ・ 妻の介護が自分にとって必要不可欠です。少しでも健康が維持できることを願っています。

2 ご家族、保護者の方

(1) 啓発・広報活動の推進

- ・地域のあちらこちらにホームが建ち、地域の人目に触れながら毎日生活することが、多くの方々に障がいのある人たちの存在を理解していただくのに一番だと思います。

(2) 地域福祉活動の推進

- ・障がい者が自立して生活していく上で、不理解、不便がまだまだたくさんあるように思います。
- ・地域で障がいをもった人々に対して、集いあう所があったらよいと思いました。

(3) 相談体制・情報提供の充実

- ・福祉に関する情報は尋ねないと知らないことが多いので、積極的に教えてほしいです。(6件)
- ・様々な支援も、申請しなければ受けられないし、金銭的な負担が多いです。(4件)
- ・手続きを簡素化しないと届出ができません。家族が代行しなければならないことも多いです。(2件)
- ・福祉サービスをほとんど利用していないため、これから利用できたらと思います。(2件)
- ・収入が障がい年金のみで助かっています。今後も支給制度を維持していただきたいです。(2件)
- ・障がいをもっていない人は、もっていたらという立場になり、言動していただきたいです。(2件)
- ・相談には親身になってください。解決策を探していただけることを要望します。(2件)
- ・ホームページなどに細かい内容があれば、助かります。
- ・空いている時間にある程度のことがかかるような仕組みにしてほしいです。
- ・自分が勉強不足であり、親としてはもう一歩前進しなければいけないと感じました。
- ・軽度障がい児の情報が少ないので、特別支援学級在籍者に、市より情報を知らせてほしいです。
- ・障がい者情報誌・通信・体験談等を配布していただくと障がい者を持つ親としては心がいやされます。
- ・縦割りでは無く、横の情報共有をしてほしいです。福祉と教育が一体となって実現してほしいです。
- ・障がい者が直接手続きに行けないのですから、市の方から手続きにきてほしいです。
- ・社会福祉協議会の場所が遠いので、市役所で、できるように便宜をはかってほしいです。
- ・提出物が多いので、マニュアルを1冊に作ってもらいたい。
- ・学校へ診断書を出すときの書面代が、たえず発生して大変です。
- ・津島市の福祉行政について、他の行政と比べると厳しいと思います。
- ・「障がい者福祉施策」と言われても、活かしきれてないのではないのでしょうか。
- ・不安な気持ちで毎日すごすことのない、相談のできる場所づくりをお願いします。
- ・この先自分一人で生活して行くのにどのようにしてよいのか一番心配です。
- ・障がい者の年金が下がったので、これ以上下がらないようにしていただきたいです。
- ・介護が必要な子に、どのような施設・手段があるのか、説明していただける機関を知りたいです。
- ・耳が聴こえない等級について、申請を仕直しするにはどうしたらよいでしょうか。
- ・休日の相談窓口の開設です。
- ・行政窓口で親切に対応してくれるので大変助かっています。

(4) 保健・医療の充実

- ・ 通院費、入院費等の医療費を安くしてください。(3件)
- ・ 病院を3か月で変わる制度になってから、ほぼ寝たきりです。リハビリ病院が第一の要望です。
- ・ 障がい者だけの病院をつくっていただけるとありがたいです。(2件)
- ・ 金銭的にパートをしなければなりません、病気になったとき、すぐに受診に連れて行けません。
- ・ 医療での個人の病院のトイレが、まだ和式の所があるのでせめて洋式にしてほしいです。
- ・ 介護士の増員をしてほしいです。
- ・ 障がいがあるからこそ受診が必要なのに、医療費の控除がないのは大変つらいです。

(5) 福祉サービスの充実

- ・ 親・身内の死後、生活や就労のサービスが気軽に受けられる施設、支援の充実です。(8件)
- ・ 特別養護老人ホームなど、入所できる施設の数の充実をお願いします。(5件)
- ・ 介護する側が疲れる場合があります。介護する側のケアもあるとよいと思います。(4件)
- ・ 障がい者の税金を減税し、年金をよくしてください。(5件)
- ・ 気軽に利用できる施設がほしいです。(2件)
- ・ 重度の障がい者の介護者に対する支援もお願いしたいです。
- ・ 他の市町村に比べ、障がい者福祉に対する支援や援助が少ないです。すべてが後回しになっています。
- ・ 手当等を受給の際に世帯全員の収入を調べられますが、扶養者のみでいけないのでしょうか。
- ・ 改善をよろしくお願い致します。
- ・ 今は、まだ利用することはありませんが将来受けたいと思います。

(6) 保育・教育の充実

- ・ 集団生活を円滑にするために療育に通っているのに、入園を待たされ、社会生活デビューが遅れるのは腹が立ちます。療育通園している子の保育園入園を早めていただきたいと思います。(2件)
- ・ 知的障がいでも、個性や成長具合を個々にみるために、職員、支援員を増やしてほしいです。
- ・ 中学でも、小学校のように補助の先生を入れていただきたいです。
- ・ 障がい児が利用できる学童保育がないのはおかしいです。
- ・ 他校では、特別支援学級は人数が少なくても2クラスあるのに、なぜ1クラスしかないのでしょうか。
- ・ 障がい児を持つ保護者の意見交換会などを開き、生きたサービスを実現してほしいです。
- ・ 障がい児を持つ親も、保育園児と同様に安心して働ける環境をつくってほしいです。

(7) 雇用・就労の促進

- ・ 大人になってからの進路がとても不安です。私たちの死後、自立できる制度がほしいです。(8件)
- ・ 作業所の工賃の安さにびっくりです。1人でやっていかなくはならなくなったとき、それぞれの個性にあった仕事ができ、自活できる程度に収入が得られる福祉工場ができればと思います。(3件)
- ・ 中3で、もっと幅広い作業所で見学できるところが他にもあればと思います。
- ・ 若くて障がいになる方をみかけます。若い方が働ける場、活動できる場をもってほしいです。
- ・ 仕事を探しても仕事が見つかりません。内職等のあっせんがほしいです。

- ・問題が起きたときに間に入ってくれたり、慣れるまで調整したり、ジョブコーチをつけることができるような組織、体制の必要性を感じます。
- ・津島市で利用できる就労支援は何か、グループホームなどの情報がもっと知りたいです。

(8) 社会参加活動の促進

- ・障がい者にも参加して楽しめるイベントを考えてほしいです。(2 件)
- ・体が大きくなると今まで行っていた場所へ遊びに行けなくなり余暇の過ごし方が困ります。
- ・1 回限りのイベントは意味がないように思えます。

(9) 生活環境の整備

- ・もう少しタクシー料金助成利用券を増やしてもらえると助かります。(6 件)
- ・生活していく上で、金銭面でも、不平等なところがあると思います。(2 件)
- ・本人 1 人になった時に入所できる施設が知りたいです。
- ・現在の住まいは四階建てでエレベーターが無いので、上り下りが大変つらく困ります。
- ・病院に介護者が毎日通うのは大変です。
- ・家族が病院に送迎するのに、本人名義の車でないと助成や減免になりません。面倒を見る別居家族も多いと思うので、認めてもらえたらと思います。
- ・町中に、またどの町内にも 1 ~ 2 軒のホームが当たり前のよう存在すればと願っています。

(10) 防犯・防災・交通安全対策の充実

- ・災害時の避難等の積極的な支援とフォローをお願い致します。(2 件)
- ・私が仕事などに行っている間、水難・火災になったときはどうなるだろうかと不安で一杯です。
- ・畑の草を抜き歩道に置く人や、道路に車を止める人も多く、本当に困っています。

(11) その他

- ・私たちの死後、障がい者が 1 人で残った時に、誰が世話をしてくれるのか心配です。(5 件)
- ・このアンケートを活かし、障がい者福祉行政に積極的に取り組んでほしいです。(2 件)
- ・人それぞれ障がいや環境が違うので、一つの施策に当てはめようとしなくてほしいです。(2 件)
- ・元気で人の手を借りないで生活している老人が楽しく生活でき、子どもを守るまちの一員になれるようにお手伝いできる市行政になってください。(2 件)
- ・老老介護になって、将来、障がい者の対応に不安を感じつつ、生活を送っています。(2 件)
- ・アンケートが、主に身体障がいの方を対象とした説問で答えるのが難しいです。
- ・今何が必要とされ、何が実現され、何が提案課題なのかの解答もほしいです。
- ・本人はアンケートの内容も理解できません。家族にとっては、このアンケート自体、負担を感じます。
- ・多数のサービスが用意され、ありがたく思いますが、長期間になると今後の生活が大変不安です。
- ・町おこしをして津島市を発展させてください。
- ・障がい者に力を入れすぎはいけません。市のお金を大切に使ってください。